大正十三年十一月二十二日第三種郵便物認可（毎月一回一日發行）　昭和五年一月三十日印刷納本　同五年二月一日發行　第八卷第二號

婦人運動

二月號

第8卷　第2號

職　業　婦　人　社　發　行

叛く 竹内てるよ詩集

題字高村光太郎氏・四六版八十頁・定價五十錢・送料二錢

申込所　東京府下六郷町高畑六四四　著者宛

増補再版

第八巻 第二號 婦人運動（二月號目次）

無産黨分立反對！

總選擧が來た。

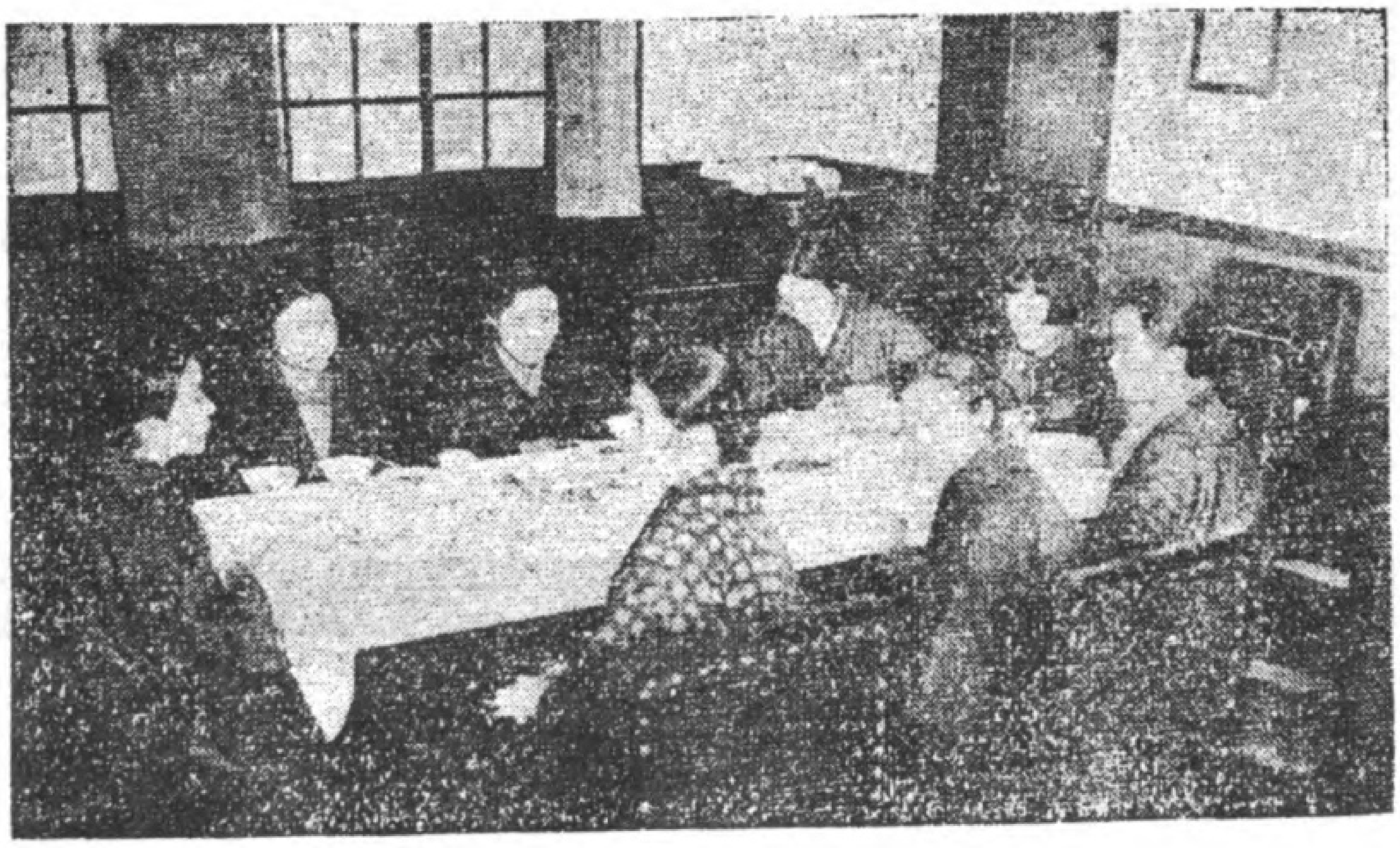
既成政黨は政友會も民政黨も、とも〴〵に底なしの泥沼にすべり込んで事件は何時果てるとも知れぬ興味のうちに國民の信望を完全に失つた。

この好機會にわれらは際會したのである。われらの無産黨の進出すべき、まさに絶好期來！　と叫ばざるを得ぬ。

然し、然し何ごとぞ。たゞ一つあれば足りる筈のわれらの無産黨が八つも十もあつて互ひに僞黨呼ばはりしつゝ、同一選擧區に三人五人と無産黨公認候補者の亂立沙汰である。一票をもつ有權者ならずとも大衆は就くべき處を知らずして戸迷ふことであらう。結局、みんなニセ者でありはしないか。

民衆はたゞ、政治に依つて一つでも多くの利益を毎日の生活の上に獲たいとこそ希へ政治を踏み臺にして英雄の如く舁がれて出る五人や十人の代議士を決して欲してゐるわけではない！

新聞紙の報ずる處に依れば、無産黨とは云ひ條各候補者の選擧費用の豫算額は五千圓



右圖は一月十七日に催された無産黨婦人協議會の第一回集り。今日のやうに四分五裂した無産諸黨が互ひに相爭つてゐる現狀は決して階級的立場をとる

七千圓とか云ふ。この金子の千分の一でもあつたら、とは大多數の無產者の朝に晩にの嘆聲である。一日の賭けに數萬金數十萬金を惜しとしないで骨肉食み合ふわれらの無產政黨！　噫！

各無產黨を通じて個人としては、どちらにも信賴すべく推奬すべき優秀人物が決して尠くないのであるが、個人的にみていかに優秀な人物だからとて、今日の分立沙汰が全然候補者だけの責任であるとは云はないまでも、この絕望的な混亂時にてんでが「我れこそ」と爭ひ合つてゐる有樣は確かに階級的に批難さるべきであり、好意をもつてはみてゐられぬ圖である。

われ〳〵は婦人として、婦人の完き解放がたゞ全無產者の階級的解放を圖ることに依つてのみ可能だと信ずる立場から、最近既成政黨が、婦人の保守的勢力を利用しやうとして露骨に働きかけて來たこの頃の狀勢にかんがみても、一日も早く無產黨を今日のこの邪道から救ひあげて强力にし大衆獲得の一路を邁進したいと焦るばかりである。

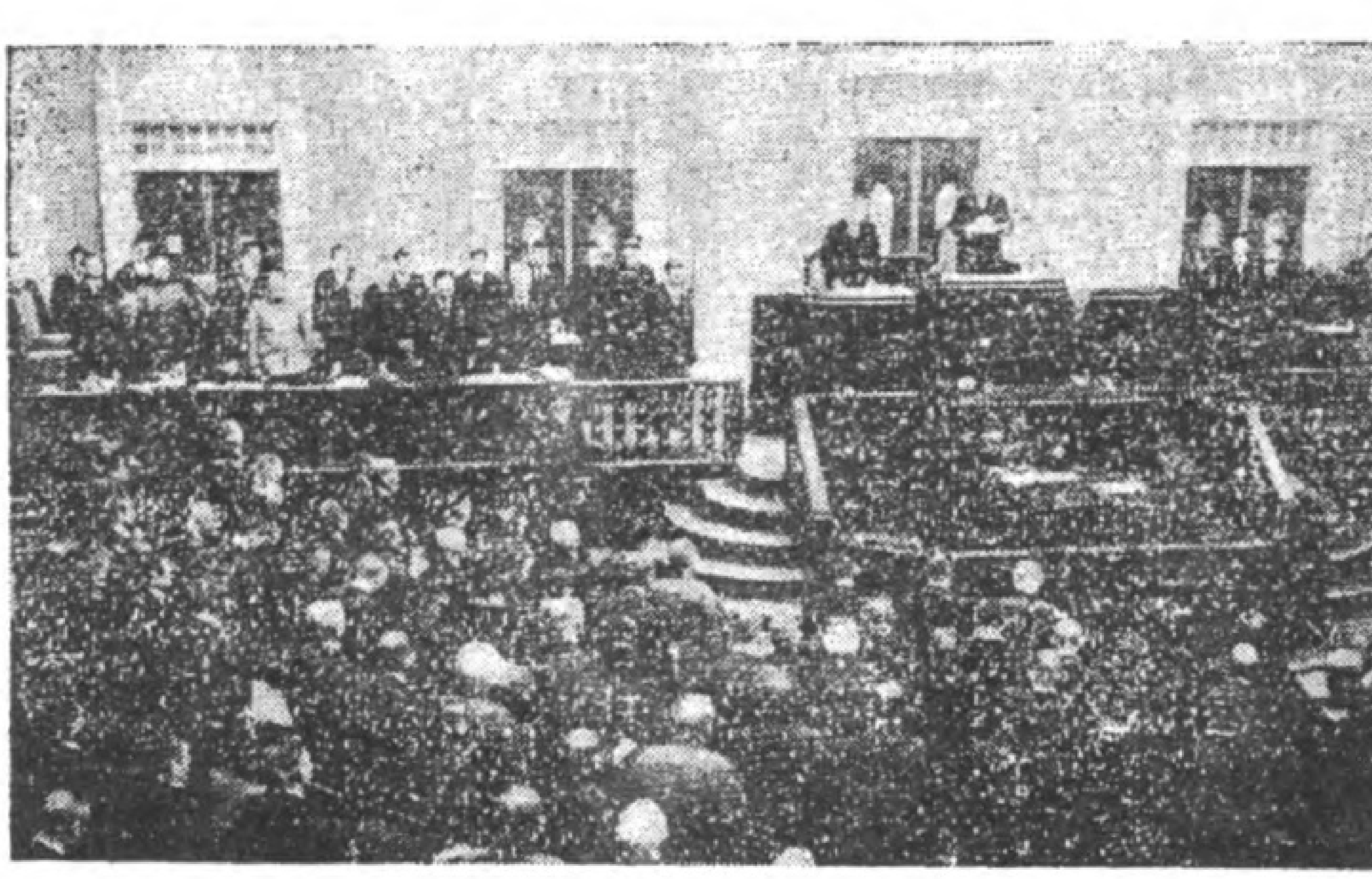
群小無產黨の分立反對！

無產黨に名藉りて、自らの英雄心の滿足に日も之れ足らずとしてゐる無產黨貴族排擊！

婦人はこの分裂の嵐に卷きこまれることなく、われらの無產黨陣營を守らねばならぬ

（むめお）

婦人の本意とする處でないといふ點で一致し、將來ともに戰線統一のために協力しやうといふことになりました。左圖は休會あけの五十七議會が解散の刹那の光景です。





婦人の實體・文學・戀愛

今野賢三

一　婦人の實體を語る

貴女たちは此の僕に、思ひきつてものを言つてくれと言ひましたね。よろしい。憤慨されるかも知れない。とにかく申しませう。

さて、僕は、貴女たちに先づ質問します。いつたい、貴女たちは、生活的に言つたならば、どんな位置にゐられますか

つまり、階級的にです。これは、おほまかな分けかたです。

實際、たゞ、かうしたおほまかな、分けかたで、婦人を論ずることは、實際的な、日本の婦人乃至その運動を、正體の個々を具體的にかんがへることではありませんね。しかし、とにかく、順序として斯う分けてから、僕はものを言ひたいのです。

そこで貴女たちは、いろ〳〵と分れるでせう。同じ、プロレタリヤでも、教養のすぐれた、智識的なひともあれば、職業婦人であつても、ブルジョア的な生活を欲し、ブルジョア

的な氣持をもつてゐるひともあれば、工場勞働の婦人もあれば、農村のひともあれば、人妻もあれば、未婚者も――。

ところで、僕はひとつ、一般婦人の立場から言つて見ます。すると、こんな結論が出てくるんです。經濟的に獨立してゐない婦人は、全部、ブルジョアの玩具か、不生產的な存在か、物質的、非物質的、取引の物品か、すなはち、男性への、寄生虫的存在として、その、人間的權利、人格――の、一切をうしなつてゐるから、ほんたうに、横利、人格をかんがへての、婦人解放は、此のやうな、不自然な、ブルジョア社會が、どうにかならないうちは、不可能なことだと。そこで、婦人の立場から見た此の社會は、男子專政の、男子のみを中心とした社會といふことになります。

ところが、此の男子暴君の社會は、すなはち、現代においては、資本主義社會であつてみると、婦人が、眞に、自己の解放をかんがへるなら、工場や農村の、產業上のプロレタリヤと共通した目的を持つてゐることに氣がついて來なければならなくなります。ところでまた、經濟的に、獨立してゐる職業婦人、乃至は勞働婦人であつてみたところが、眞の、人格的な獨立があるかといふことになれば、決してさうではありません。なんらかの意味において自己を賣ることにおいて玩具となつてお嫁に行くのと、これほどちがはないものがあります。階級的に言つたら、支配階級の、その支配の力を强めるため、または、資本家の富を增すため、さらにまたさうした享樂者に、美貌や、若さをもつてよき感じをあたへるため――と　かく、利用される、御用をつとめる、母性をぶちこわされる、生命をすりへらす、以外のなにものでもないのであります。そのやうに、男性のプロレタリヤと變りのない立場におかれて、今や、互ひに、失業苦で喰ひあはねばならなくなつてゐます。

『良人とするひと、戀人、兄、弟、さてはまた父や母』の、失業のあとから、その職をうばつて、若き彼女が就職するかも知れません。そしてまた、誰かにねらはれるわけです。

ところで、斯ういふわかりきつたことを、それだけを、貴女たちに話さうとしたのではありませんよ。

僕は、貴女たちに、聲を大にして要求します。貴女たちから、どんなに怒られようとも、衷心から、呼びかけます。叫びかけます。それはなにか？

1、貴女たちは、その自己、そのものに對して、徹底的に

懷疑をもつて考へてくれません。

2、なぜ、女性といふ自己の存在に、徹底的な懷疑を持ち得ないか？ そこに、女性としての特質があることに氣がつかないやうです。

3・たゞ、おゝまかに、階級的に分類し、階級的に自覺せよ、といふだけではありません。自己の氣持のなかに、どういふものが存在してゐるか？ 自己の、本能的、傳統的な、無意識的な！ 本體に對して、ほんたうに自覺してくれません。

4、貴女たちは、自分のなかに巣喰ふてゐる、(長い男子專政に依つて培養されたところの)隷奴的性格——に氣がついてゐますか？ その、猜疑的、嫉妬的、小心、神經的存在、(意志！ 人間的强い感情！)を、すつかり拔きとられてゐることに氣がついてゐますか？ その、弱くされた本能だけの性格、が・無意識的に作用することに氣がついてゐられますか？

5、そこで、貴女たちは、なるほど、自由に眼覺めましたなるほど、男女平等を考へるほど、また男子の奴隷になるまいとするほど、自由主義に眼覺めました。しかし、それはなんです。個人主義以上のなにものです。

自分が、奴隷から解放されたつもりで、男子に勝利を叫ぶとき、實は、より完全に、奴隷になることだといふことに氣がつきませんか。殊に、貴女たちは、その、個人主義的なものゝ考へかたを絕對だと思つてゐます。

「わたしの氣持が欲しないから」

斯う言つて行動します。自分の氣持なるものに、絕對權をあたへて、すつかり甘えてしまひます。すつかりいゝ子になつてしまひます。社會的存在の一員と自覺したつもりでゐても「わたしの氣持」なるものに、すつかりあやつられるほど個人主義的、自由主義から、ちつとも拔けきれません。

6、なるほど、貴女たちに、理性が發達しました。男子と同じ水準まで來てゐます。或はそれ以上の方もあるでせう。けれども、貴方たちは、理性と、行動と矛盾を感じませんか。理性といつしよに、意志と感情が、太い線となつて、決斷的にうごきますか？

7、貴女たちは、集團的な行動において、集團的な生活において、如何に「わたしの氣持」を、その自由主義からむき出しにするかを、假りに他人の場合でも、徹底的に批判し、

反省的に考へてみたことがありますか？

さうです。もう此のくらゐで、貴女たちのお怒りから、顔を反向けませう。しかし、オットーワイニンゲルに、僕は賛成するんぢやないが、「婦人解放の敵は婦人自身だ」といふ意味を、ほんたうに、精算的に、考へてくれるひとがあるでせうか！　僕は、なにをこのんで、貴女たちの氣に喰はないことを、言ひたいものでせう。僕の、婦人解放に關心を持つ熱意は、眞に、涙ぐましいものです。僕もだらしのない、ありふれた男であるに過ぎないが、婦人解放の問題に、關心を持つといふことにおいて、それこそ、眞劍であるといふことに恥ません。

二　文學と婦人

Aさん――

貴女は、文學がお好きだとのことですね。貴女は、文學から、なにを求めてゐるのですか？

なるほど！　貴女は、文學から「なにか人生について教へられたい」と、仰有るのですね。よくわかりました。なに？もう一つ、「藝術にしたしむることに依つて、自己を美しくしたい」なるほど！　まだあると仰有るのですか？「文學を愛するといふことが、自分の幸福なたのしみだ」さうですか。よくわかりました。

それでは、最近の、プロレタリヤ文學について、如何お考へですか。最近といつても、もう發生して十年にもなりますが。

なに？　鬪爭的な、級階意識のハッキリした、變つた生活を見せてくれるが、それは、ものめづらしい、と思はせたりまた、なるほど、今の社會は斯ういふものだと思はせ、また悲慘なプロレタリヤの存在に泣かされ、昂奮させられるけれども、眞に自分の、要求してやまない人生觀に、ほんたうにしつくりと觸れて、答へてくれる、さうした個人の内部生活にはいつて、その深さから、階級的なり、鬪爭的なりに、自己をすくひあげてくれる――それがすくない、と貴女は仰有るのですね。

ところで、貴女の注文を、一概に無視せずに、僕たちは考へて見ませう。僕の考へるといふのは、「文學に對する讀者心理」を、充分に、微細に、究めたいといふことです。

僕たちの、プロレタリヤ文學運動も、讀者心理の、分析的研究考察において、實は、いさゝか缺くるところがありまし

た。假りに、貴女は、單純な、わるく言へば、『ありふれた文學少女』型であるとしてもですね。文學を愛するかぎりにおいて、インテリゲンチヤであり、『文學的』だといふことはまぬがれませんから、それを輕蔑し、無視することは出來ません。
　そこで貴女に言ひませう。『文學の眞實性は疑はないだらう』と。よろしい。それさへ、異存がないならば、こんどは貴女に注文します。文學小說の、讀み方、見方を考へてもらひたいと！　わけても、プロレタリヤ文學の、眞實性がうけいれられるならば、貴女は出來るだけ、自分の心持をはたらかせ、理性をはたらかして、自己の存在の位置！　自己の方向！　自己の人生に對する光明的解決を御自分でプロレタリヤ文學から發見して欲しいと！

三　新戀愛論の片言

　いけませんね。貴女たちは、いつまで、そんな風に、自然發生的な『初戀の重視』とか、瞬間的印象とかの、外面的な氣分的な、子供じみた戀愛を、たれがほんたうの戀愛だといふ風に、決定的に考へてゐなければならないのですか。
　ところがまたどうです。コロンタイ女史の『三代の戀』などの、ゲニヤの場合なぞを、なぜそのやうに思ひちがひするのです。

　ゲニヤの、立つてゐる根據は、どこにあるとお思ひですか？　ゲニヤはコンミユニストではなかつたのですか。ほ・たうに、それこそ、心から愛するひとは、黨の書記であり、レーニンであり、お母さんであると言はなかつたのですか。ゲニヤの一切の愛は、『氣分的』な、『瞬間的』な、『自然發生的』な、そして（本人が意識しないで美化し、精神化してゐる）盲目的、衝動的、本能的なものではなかつたのです！　こゝまで、ほんたうに、理解ができませうか。もし、ゲニヤが、あれで性生活を否定したなら、クリスト教の禁慾主義となつて、人間性を失ひ、一顧の價値もありませんね。ところで、お母さんの愛人を取つたといふことが非難になるのですか。ところが、ゲニヤは取つたと意識してゐなかつたのです。自然の人間的生活を、自然に行つたゞけです。あれが意識的に戀愛鬪爭をしたのなら、それこそ非難もさるべきであり、それこそ、個人主義的戀愛以上のなにものでもありません。ところが、ゲニヤの場合は、戀愛鬪爭ではなかつたのです。『必要』に追ひ込まれてゐる男女が、その接觸の機會に依つて、

作用されたといふところに！　その、自然な要求を、自然に行つたといふ、意識的な、公平正大な點において！　ゲニヤはたゞ、暗黒にかくしておかなかつただけのことです。コロンタイ女史は、大きな底深い眼で、これを宣傳しようとはしないが、是認してゐます。これを、宣傳してゐると思ひ、この、ゲニヤの行爲を、放縦と解し、それをコロンタイ女史のあたらしい戀愛論だ思ふところに、無理解と誤解が發生してゐます。

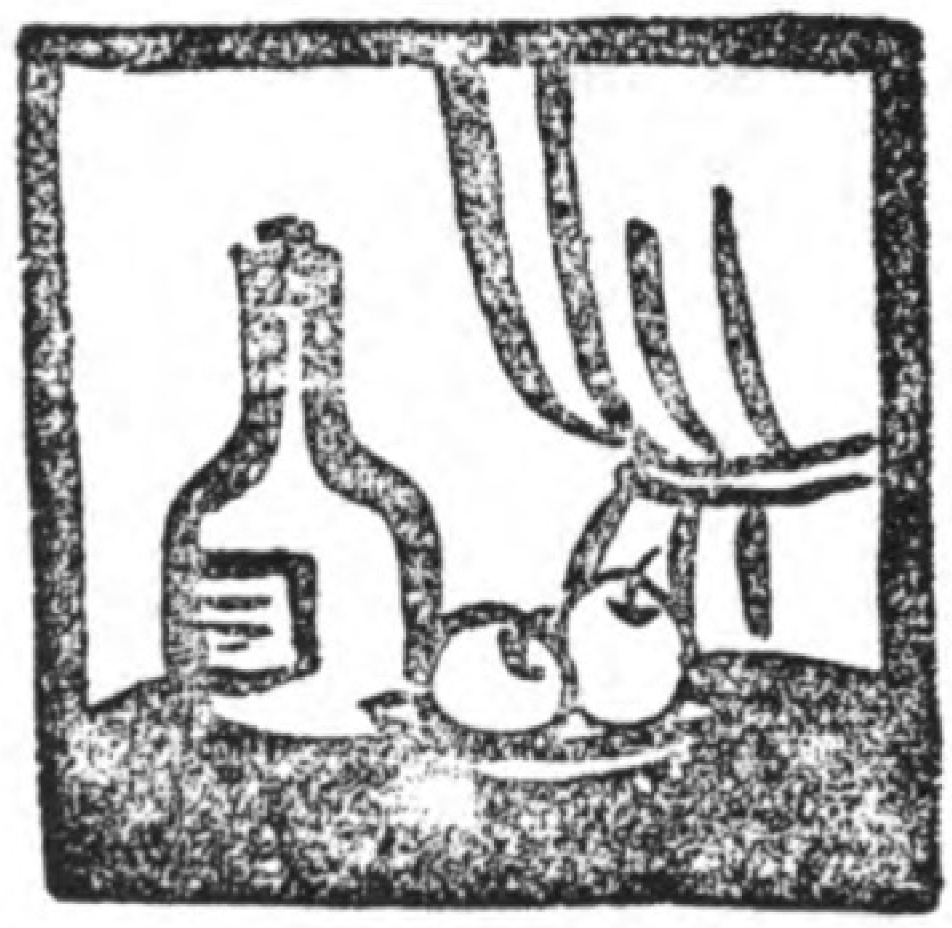
貴女たちは、まづ、戀愛に對して、その「個人主義意識」を、スッパリと、捨て切らなければ、ゲニヤの場合が理解されません。

貴女たちが、「社會的義務」すなはち、「階級的議務」まで自覺し、もう一歩すゝんで、コンミユニストの意識、否、信念化――まで、高上したときに、さうした生活が一切となつたときに！　そこに選まれてくる愛人は、どんなひとだと思ひます。また、さうした場合、愛する對照が、どういふ風になると思ひます。さうした、「義務の信念化」に、一切の、自己の、戀愛感情を、うち込むことになりはしないでせうか。またもし、さうして戀愛感情をうち込まなくとも、「個人主義的精神的、享樂的」さうした、高踏的な戀愛に溺れる、氣持のうへの餘裕があるでせうか。

假りに、思想的女性に、戀愛が發生するとすれば、「同志」としての愛が、純化され、性的な男女の作用から、戀愛化することは、これは、想像することが出來ます。しかし、かうした戀愛は、その「思想的行動を神聖化する」上において、強く作用するのであつて、普通の戀愛生活に見るやうな、享樂的幸福の追駈けではありません。

思想的女性にとつては、それが、人生における、第一義です。すべては、その大地の上に、咲く花にすぎません。戀愛もすなはち、第二義的に發生し、第二義的に取扱はれ、そして第一義化するのです。すなはち、目的意識の戀愛が、決して不自然ではないのです。戀愛の進化はそこに見られます。

しかし、さういふ戀愛さへ必要とせず、その戀愛感情の一切を、マルクス、レーニン等の、信奉の根據にさゝげるものなら、本能的必要は、その必要に依つて、公明正大に、食物的に、取扱ふことこそ！　人間を活力的にし、また、人間的な、正しい生活の考へかたと言ふことが出來ます。さうしてこそ、新時代の、あたらしい、活動的生活が、あやまらぬ理性の下に、遂行してゆくことが出來ます。



サヴエート・ロシアに於ける 母性及び乳兒保護運動

アンナ・ジエー・ヘーンズ
樺山千代譯

序

本文は、多年ロシアにあつて保健事業に多くの貢獻をなすと共に、實際研究者として優れた素質をもつアメリカの一勞働婦人アンナ・ジエー・ヘーンズの著書から引いたものである。

健康委員の最も活動的な部門は、ウエラ、レベーデワ博士の統轄のもとに、母性と幼兒の保護に當てられてゐる。

育兒相談所

一九一八年初めてそれが組織された當時には、幼兒の死亡率は文明國中最高位であつた。大戰前一歳以下の幼兒の死亡率がイギリスに於ては一〇〇につき一三、ドイツに於ては一九・二と登錄されてゐるときに、ロシアの率は二七であつた。(一九二六年モスコー版ベー、エス、ギンスブルク博士『母性と幼兒の保護』による)これらの數字は革命以前から既に小兒病學者や博愛的な市

民を悩まして、かゝる狀態を改善しやうとする試驗的な努力は、私的慈善の方面に添ふて試みられた。育兒相談所と給乳所がオデッサ、セント・ペテルスブルグ、モスコー其他の都市に設けられた、がいづれも全く實驗的な性質のばかりであつて、何等の統一したプログラムを持つてゐなかつた。

革命の勃發とともに、そして流血と不確實な勝利の最初の不安な幾年の間に、無慈悲な行爲に鐵のやうに不感になつた人達にも子供等に對する優しい情緒と、社會化された世界に於ける彼等の役割に對する聰明な理解「我々の子供達――未來の希望」といつた風の初期の標語に具體化された態度によつて充たされた。個人的な犧牲は拂はれ、國家の基金はそれらの時期の困難から子供達を守るために自由に用ひられた。この情熱の波動の間に「母性及び幼兒保護部」の活動が着々と進められたのであつた。

その管理のもとに開かれた最初の施設は、「相談所」或ひは「育兒相談所」といひ得られるもの、勞働せる母親の子供達のための晝間託兒所であつた。しかし展望はすぐに擴大された。地方の管理者の一人は言つた。

「私たちは一つの考へ――幼兒死亡率に對して鬪爭するといふ考へをもつて、この仕事を初めたのでした。今、私達は自分等が婦人の全社會的、經濟的な生活に關係してゐることを知つてゐます」と。

一九二六年モスコーに於て發行された、母性及び幼兒保護第三回全露會議の報告の第十二頁からとられた次の數字は、一九一七年より一九二五年に至るサヴエート・ロシア全土に於けるこの部門の發展の正確な姿を寫し出してゐる。

母性及幼兒保護に對する施設

施設の種類	一九一七	一九一八	一九一九	一九二〇	一九二一	一九二二	一九二三	一九二四	一九二五
工業地帯に於ける晝間託兒所	一四	七八	一二六	五六五	六六八	九一四	四四七	五〇三	五八四
農村に於ける夏期晝間託兒所	―	―	―	―	―	一二五	二〇九	五二四	一、八五三
農村に於ける恒常的晝間託兒所	―	―	―	―	―	―	―	―	五
小兒相談所	六	三九	五八	一三三	一六一	一七九	一三七	一六五	三七二

妊娠婦人相談所	—	—	—	—	—	二九	二八	九五	二〇八
農村相談所	—	—	—	—	—	—	—	七	一二〇
法律相談所	—	—	—	—	—	—	—	三〇	一三〇
母及小兒のホーム	—	一〇	一七	九九	一二五	二三七	一一〇	九一	九六
小兒ホーム	七	九二	一二一	三七〇	四一八	七六五	四九一	三六二	二八七
合計	二七	二一九	三二二	一、一六七	一、三七二	二、二四九	一、四二二	一、七七七	三、六五五

この表に於て、基金の大部が中央委員から來た初期時代の施設の急速な進展と、次に新經濟政策が起つて、地方の施設は主として地方基金によつて維持さるべきを要求した一九二二年の鋭い衰退とが看取される。その後再び進展が見られるが、今度は一層緩漫で、實驗濟の處で必要に應じて行はれてゐる施設の方向にのみ添ふてゐる。又初期に於ては無訓練な母親の無器用な努力よりもよりいゝ結果を示すだらうと期待される專門家の保姆をホームにおいて、彼等の乳兒を託すやうに獎勵された。年長兒の學校は集團生活の價値に對する多くの證明を與へたけれども、この制度は幼兒には不適當なことが發見された、かくて吾々は(これらのホームに割增食料の供給が絕體に必要であつた)飢饉の幾年の後は、この種の施設は不斷に減少した。そして保護部は今は斷乎として、すべての母親に彼等の子供を自己の家庭に止めおくことを獎勵する政策をとり、孤兒ですら個人の家庭に託され、保姆が訪問して監督することになつてゐる。田園地方ではこの頃、第一に野外に働いてゐる貧農婦人の乳兒を世話する夏期晝間託兒所が發達し、村落に於ける四季晝間託兒所も出來てこの事業の發展振を反映してゐる。

相談所は、泥濘のステツプの村落にも、忙しい工業中心地にも、常に生々した畫面を呈してゐる。朝早くショールと羊皮に或は絹とアストラカン皮の外着を纏ふた婦人(といふのはすべての階級、前公爵夫人さへもがこれらの健康相談所へやつて來るから)が各々すつぽりと包んだ赤ん坊を抱いて、その建物の戸口に集まる、一人の醫師が、充分の時間と十二分の關心が患者の一人々々に與へられるために、一日に僅か二十五人の乳兒を診察するのである。だから時間厳守だ、遲參者は悄然歸らな

ければならない。九時に保姆が到着する、そして控室の戸が開かれる。他のすべての係員と同様、引きずるやうな白い上つ張りに白い帽子をかぶつた保姆長が、入口に立番する、そして彼女の前を靜かに母親と乳兒の列が通り過ぎる。若しも乳兒が感冒をひいてゐるか、熱があるか、それとも胃を害してゐたりすると、母親は別々の、母親のための椅子と乳兒の診察臺を具へた小さい寢室用の硝子で仕切つた別室に通される。

醫師は第一に此處にやつて來て、輕い病氣には處方箋を書き、重態であるなら病院に行くことを母親に命ずる。他の乳兒は母親が一般の控室に竝んでゐて個々の坐席に木で仕切られた長い木の柵につれて來られる、此處で乳兒達は保姆によつて脱衣され目方を測られ體溫を檢べられる。控室の壁は育兒の方法についてまちがつてゐることどもを正しく敎へる、華美な採色のポスターで蔽はれてゐる。室の一隅には大抵、赤ん坊のための範模寢臺と化粧卓が置かれ、何處かに優良な種類と不良な種類の玩具が陳列されてゐる。棚には乳兒と哺乳する母親のための適當な食物と不適當な食物の蠟製の模型が列べてある。屢々赤ん坊を診察に連れて來るのは、母親でなく父親である、仕事から離れた彼の時間はかういふ役目には母親の時間よりも一層便利であらうから。これらの相談所の求診者達はすぐお互ひに懇意になるので時々泣き出す赤ん坊の泣き聲よりも、大きいロシヤ語の會話で室中がわん〳〵する。初めてやつて來た母親は、保姆達に彼女自身と赤ん坊の父親の長い社會史を繰り擴げ、また彼等の家庭の衛生狀態を事細かに述べ立てる。

十時に醫師が着くと、赤ん坊とその親と記錄とが醫師の引見を受ける、これには、其の時の必要に應じて十分から三十分に亘る、赤ん坊の完全な身體檢査が含まれてゐる。當該相談所の受持つ地理的地域は普通より小さい地區に分割されてゐて、各地區の家庭を訪問するために一人の保姆が任命されてゐる。各保姆は彼女の地域の母親か醫師と接見する時に面倒を見ることになつてゐるので、その週、彼女がその家庭を訪問するときは、假にその母親が受けた指圖を心得てゐる。だからそれが如何な注意を以て守られてゐるかを報告することが出來る。

若しも人工哺育が必要なときは、處方箋を受けて、それを相談所附屬の給乳所に持つてゆく。彼女にそれだけの能力があれ

ば（そしてこの能力に對する彼女自身の評價は訪問保姆の家庭報告と對照される。）この割增食料に對して支辨することになつてゐる。――普通は所要な食料の半以上が無料で調達される。

給乳所は一人の熟練な勞働者に管理されてゐて、アメリカで用ひられてゐるよりも一層多樣なそしてもつと複雜な調法が準備され、每日發表される。藥劑が必要な場合は、それらはまた處方され、大低は無料で與へられる。外科の手當が必要とされる場合は小兒は、それがもはや必要でなくなるまで、每日通ふ。種痘と結核豫防法が登錄せるすべての小兒に試みられる。訪問保姆は小兒が登錄せられると間もなく彼等の家庭を訪問し、其の後も必要と思はれる都度訪問して生活狀態を改善し、家庭に於ける母親の注意を指圖する。紐育の長屋に於てさへ見出されないやうな原始的な狀態が示される。

これらの相談所の組織された活動は、母親達自身と彼等の子供達の福祉に關する一切の問題について彼等に法律上の忠言を與へる部門である。現存の相談所中殆ど四分の一には現在、この目的のために一週に一日乃至二日、彼等を訪問するところの法律家がある。サヴエート法は子供の母に對する父の結婚が登錄されてゐると否とに拘らず、父親は自分の子供の扶養に責任を負ふことを規定してゐる。そして法律相談所に持ち込まれる事件の多くはこの子供の扶養料の問題に關係してゐる。忠言が與へられるばかりでなく、母親は扶養料の取立や他の事柄に於ける彼女の權利の獲得にも助力される。

婦人相談所

これらの相談所の多くには、妊婦相談所と呼びなされてゐるものが連結されてゐるが、それは最近は一層一般化された「婦人相談所」に變へられてゐる。そこへはどんな婦人も婦人としての彼女の健康に關する事項について忠言を求めに來ることが出來る。

種々の職業の婦人に及ぼす影響、彼女等に最もよく適合した生理敎育の型、その他同樣の問題が研究され、それに就て報告

される。婦人病學上の實際の手當は加へられないが、診察は行はれて、患者は、手當の必要な場合は行き先を敎へられる。學校を出るすべての少女が診察と忠言を受けにこれらの相談所に來なければならぬことになつてゐるが、今のところまだかゝる數を取扱ふほどには相談所は充實してゐない。現在これらの相談所の最も活潑な仕事は規則正しく診察を受けるやうに奬勵され、衞生的な生活及育兒のすべての事柄に指圖を與へられてゐる妊娠婦人に關係してゐる。

これらの相談所ではまた、産兒制限及び人工流産の問題が取扱れてゐる。一九一七年に人工流産は、ロシヤに於ては男女の社會的及産業的平等に對する運動の一つの結果として法律上認められた。然しながら、間もなく醫師の監督を受けない實行が非科學的手術の結果傳染病を受けた婦人を以て病院を滿員ならしめる結果に至らしめてゐることが明かになつた。かういふ事態は人工流産の公認以前にも殆ど同一程度に存在してはゐたけれども、當時には違法な施術者は起訴されるといふ惧があつた。新法のもとに於てはこれは不可能だつた。のみならず、適當な理由なしに母性を忌避する婦人もあることが感ぜられた

其處で一九二〇年には病院外に於て或ひは資格ある醫師以外の者による人工流産を、違法とすることに決定され、また一九二四年には地方委員が設立され、人工流産を受けんとする者は、この委員にその旨を願ひ出ることになつた。これらの委員は通常事件の醫學的方面を判定する一人の醫師と、請求者の社會的及經濟的妥當性を決定する（吾々の婦人倶樂部に類した）地方婦人、組織の一若くはそれ以上の會員から成つてゐる。既に三人乃至四人の子供を有する勞働婦人、その妊娠によつて健康が危險に曝される虞ある婦人、經濟的地位が非常に貧しい婦人は、大抵合法的人工流産を受ける許可を與へられる。ある州の人口三萬を有する、一都市に於て一週に一回委員會が開かれたそして市のすべての妊娠婦人の略二〇パーセントが人工流産を請求してゐると許定された。一八パーセントが許可を得た。これらの方策の結果に關しては、尙猛烈な討論が行はれてゐる。

より多くの人工流産が醫師の監督のもとに行はれてゐるとは一般に認められてゐるが、彼等の請願が聽き屆けられることが判然しない限り、委員を訪ねる妊娠婦人はあまりないことも亦事實である。許可不許可が疑問であるならば彼女等は依然不正施療者の秘密手術に赴くであらう。合法及非合法人工流産の類の增加は略等しいと考へられてゐる、そして全體に於てそれは

全人口に對して、人工流産がすべて（極く少數の例外はあるが）違法とされてゐる獨逸に於けると略同一の比率――各一〇〇の人口に對し五乃至六の人工流産――を保つと言はれてゐる。ロシヤに於て人工流産が公認されて以來、統計は棄兒の數を減少し、幼兒死亡率が減少した。が、これらの事實を確定的なものと考へることは多分早計に失するだらう。

産兒制限はロシヤに於てはまだ殆ど理解されてゐない。多くの醫師は猶それを人工流産と混同してゐる。それに對しては何等の法律もない。そして婦人相談所のあるものに於ては、この問題に對する教示は十分に與へられてゐるが、事柄は多くの場合、受持醫員の個人的な裁斷に委ねられてゐる。當局者の一般的態度は、それは資本主義の經濟的壓迫から必然的に結果する慣習であつて、食料が豊富で増加する人口を支へることの出來るロシヤのやうな社會主義國家に於ては存在の餘地がない處にあるらしい。人工流産に對する委員を通じて行はれる出産率の國家的統制は普及せられた産兒制限智識の結果であらう、個人的統制よりもコンミユニズムの一般原理により多く合致するやうに思はれる。

婦人ホーム

ロシヤに於ける各成年者は國家の經濟に一定の分擔を有する勞働單位と考へられてゐる。が他の方面における國家の經濟活動は母としての婦人の國家に對する分擔に干渉してはならないといふことが認められてゐる。だから筋肉勞働者たるすべての婦人は、産前産後に賃銀の全額支拂を受けて、八週間の休暇を得る權利を與へられる。そしてすべての智的勞働者は同上六週間の休暇を與へられてゐる。勞働から自由なこれらの週間は家庭に於て、或ひは幼兒の福祉を目指す國家計畫の一部たる母及び小兒のホームの一つに於て過される。

これらのホームは現在、集團的生活狀態が特にそれを必要ならしめるところの大都會にのみ見出される。それは普通二十人から三十人の婦人のための氣持のいゝ寄宿舍に改造された舊の邸宅であつて、感じのいゝ居間と食堂があり、母親達の寢室と小兒の哺育室がある。管理者は一人の熟練した保姆であつて、熟練した數名の助手並に數名の炊事係と洗濯婦とか居る。母親

達及母親にならうとしてゐる人達は舍の輕易な仕事をし、彼等自身のまたその小兒達の身體的必要事に對する心得を學ぶのである。彼等は訪問客を受けることゝ毎日一定時間ホームの外に出ることを許されてゐる。嬰兒はこれらのホームで生れるのではなく、通例の產科患者が四五日だけ止まるところの產科病院で生れるのである、とは言へ、ホームでは母と嬰兒は醫師の注意の下にあるのであつて、この監督が幼兒死亡率に於ける減少と密接な關係があると考へられてゐる。このホームの數は未だ極く不十分ではあるが、確實に增加の趨勢にある。

兒童保護機關

兒童のための恒常的なホームは革命後の初期に於ては、社會主義國家の義務として提唱され、更に饑饉中はその數も增加したが、より平常の狀態の復歸とともにその名聲も衰へた。今では母親に小兒衞生の教育を授けることと、若し小兒の親達が自ら面倒を見ることが出來なければ彼等を他の監督に委ねることが强調されてゐる。

多方面に活動してゐる相談所の次に、晝間託兒所は幼兒保護に於て、最も重要な役割を演じてゐる。

母親がその嬰兒の出產後再び勞働を始める時は、彼女は屢々彼女の働いてゐる工場或は營造物にその社會的設備の一部として晝間託兒所のあるのを發見する。でなければ大抵の健康課によつて維持される託兒所があつて、彼女はそれを利用することが出來る、此處では朝母親が仕事に行く時、生後六週から三歲までの小兒が受託され、熟練な係員によつて面倒を見られ、毎日醫師に診察され入浴させられ、天氣がよければ戶外で遊ばされ、そして母親の六時間乃至八時間の勞働が終つた時に彼女に返されるのである。若しも彼女が自分で授乳してゐるならば法律によつて、この義務を果たすために、每三時間毎に、勞働からの休息時間を與へられる。更にこの託兒所への訪問中にも育兒法を敎へられ、そして子供の心理的發展に興味を持つことが出來る。心理衞生學界の研究家によつて特に推薦された家具や玩具を有する樂しい遊戲室が年長の子供には用意されてゐる。

彼等はまた個人衞生と社會的和樂の習慣を訓練される。大抵の託兒所には舍に附屬の庭園があつて、すべて天氣のいゝ日に

は全兒童が、二時間或ひはそれ以上を戸外で眠つたり遊んだりする。かくして個人的家庭と共同生活との二つの利益が、子供の成長の上にその効果を齎らすことが望まれてゐる。

最初はこれらの利益は工業勞働者の兒童に限られてゐたが、一九二一年に收穫時に終日野に働く農民婦人の兒童に對する夏期晝間託兒所要求の盛んな叫びが擧げられた。翌年にはこれら一時的託兒所の開設は一百以上に上り、爾來毎夏その數を倍加してゐる、都市の完備せる託兒所と較ぶれば、これらの小さい田舍の託兒所は、極めてお粗末な原始的な觀がある。けれどもそれは多大の努力と、農民の見解に於ける文化的變化を表はしてゐる。一の託兒所が、一九二六年、モスコーから馬車で三時間程の村落に開かれた。村の小學校の二室の机を片付け、床を洗ひ、壁を白く塗り、藁蒲團と、村のピオニール（吾々の少年團と、少女團に類した組織）によつて縫はれた白敷布とをもつ至極輕便な二十五臺の寢臺が設備された。約五十人の母親と小兒とが巡回醫師（彼は一週に僅か一回こゝに來ることが出來るであらう）の演説を眞面目に傾聽した。地方婦人倶樂部の會長活動的な若い農民婦人が一年以上も輿論の喚起と、この託兒所の財政的支持を得るために働いてゐた。そして彼女が汗を出しながら、そして滿足に顔を輝かしながら、この小さい施設の開設演習を開會した時に、人はその村落に確かに生活への新しい刺戟が與へられたことを感じた。

母親の保護

職員の問題はこれらの新しい營造物施設の發展と緊密に結びつけられてゐる。蓋しこれらを積極的健康の效果ある中心たらしめる才幹と社會的努力を有するものは醫師や保姆ではないのである。職員に對するこの必要を實現するため「母性及幼兒保護中央部」は、モスコーに、幼兒の福祉につき研究教授するための講習所を開いた。こゝ、カザリン大帝によつて建てられ、一九一七年まで世界最大の産兒院として經營されてゐた建物の中に、小兒病學や、彼等の所謂正常兒童成育の學たる兒童衛生學の種々の部門の專門家が統轄する、模範的な兒童研究所の一つが創設されてゐる。

總選擧雜談

——附たり其他色々のこと——

山崎今朝彌

△總選擧と大相撲とドッチが面白いかと云へば私は却て總選擧の方に興味を持つ。つまり總選擧の方がヒーキ相撲が多いといふわけだ。しかし今度の總選擧には余り氣が乗らない、これは私ばかりでなく天下の無産黨フアンは皆さうのようだ。あきたのか失望したのか、政友倒れ民政傷き、酷使か失業か政友か民政か、勳章か鐵道か小川か小橋か、三井か三菱か犬養か濱口か、の此好機會に兎に角余り無産黨に期待が持てないのは情けない。戰線統一の地盤協定のと云つた處が、代議士になりたい人の數だけある無産政黨の戰線統一や地盤協定は出來よう筈がない。それより、立派の口を利く人は代議士にならぬこと、黨の役員は候補者にならぬこと、只もうよく日常鬪爭をする人のみを推薦すること、にすれば、厭でも應でも戰線は統一され地盤協定は不要になつて來る。

△一昨日恩師河上博士の爲めに立候補を辭退した京都第一區の水谷君が、今日の新聞では立候補の供託をしてる。一昨日の新聞を讀んだ時私は水谷君を立候補させ勝たせて見たかつた。一旦辭退、黨の强請、立候補快諾が水谷君の打つた芝居だとなると人氣が腐り投票が減り二人の勝負はみものとなる。が河上博士も是非出して見たい人だ。

大山君はあの苦難を經たから試驗濟の人、故山本宣治君は卒業試驗中に死んだ秀才だが河上博士はまだ一度も試驗を受けた事のない人だと私は思つて居る。

△賀川豐彦君の東京第四區立候補はホンマの事か。ホンマとすれば、今更代議士なんかになりたくないと云つて斷つた菊池寛君の方が人間が一枚上らしい。尤も新聞にある通り杉山君の應援に行き選擧區などには顏出しもせず、それで當選したらほんとに偉いが、さあ之れはどうか。第四區は昔から無産黨の有望地だつたが、本田市郎森健二眞鍋儀十等までの、

無産者の票を喰ふ候補者が澤山出てるから、宮崎龍介君も淺沼稻治郎君も賀川豊彦君も共倒れとなるだろふ。淺沼君と宮崎君との票がどつちかへ片寄り一方が永遠に諦められる位違へば全國民衆黨と大衆黨との合同が出來るからせめてもの拾いものだが、相伯仲の間にあると又仲々問題は解決しまい。

△東京第一區の堺君と河野密君には私は弱つてる。人の喧嘩に自分が損しては詰らないと云ふ私の哲學から、私は中立を嚴守して双方無應援無投票ときめてる。一人でも可なりの處へ二人では堺君の當選は請合れぬが、河野君の供託金は大丈夫だらふ。投票は私には義理以外の何物でもない。これが辯護士同志の義理ならいつも双方記名の無効投票を入れる規則になつてるが、今度はまさか良心が苦めてそれも出來ない。で喧嘩を口實に苟しくも寄附せず投票せず、所謂人の喧嘩で得を取るといふ手をやらうと思ふ。

△新聞では堺君の婿の高瀬淸君が河野君の選擧長で娘の眞柄さんが大衆黨所屬無産婦人同盟の應援辯士だとあるが、河野君が之れを利用したらきつと失敗する。高瀬君まではよいが眞柄さんまでに應援させては人に不快の感を與へる、つまり人氣を損じて投票をへらす。無産黨だからとて親子は親子、人情は人情。まあ眞柄さんだけは遠慮して貰ふべしだ。眞柄さんも第一區あたりを演説し廻り親爺なんかを攻擊すればそれは少々お調子に乘り過ぎる。

△高群逸枝さんといふ女の人がある。見た事も會つた事もないが小説集「黑い女」の發行以來心安くなり、月刊「婦人戰線」を發行するから其の發賣を引受けてくれといふことで毎日二三通宛手紙のやりとりをしてる。曾て生田花世さんを、人から聞かされたのか、名から判じたのか忘れたのか絶世の美人だと思込んで居た處、讀賣か何かで寫眞を見てそれ程絶世の美人でもなくて意外に思つた事がある。高群さんも其類か又は其名の通り群を拔く高尙優美の逸品、いや逸人逸技かと私かに考へて居た。昨晩平塚らいてうさんが來て、昔し下中平凡社長が何かの雜誌で高群さんの事をさ程美人ではないが偉い人だとか何とか紹介したら、高群さんが大に憤慨して、「汝下中抑々何を云ふか」とかといふて下中君を徹底的に駁擊したといふ話をした。私は其時男は女と違い美男子と云はれると氣持が惡いと話した何だか要領を得ない話しになつたが

要するに堺君と高瀬君と喧嘩だか仲違ひだかをしてる原因は色々あろふか、高瀬君の男振りの好いのが一つの原因になつてると云ふ事を云ひたかつたのだ。話しや文章の上手下手はこんな時に顯はれる。堺君は其の昔し酒の席で高瀬君の氣に入らぬ事をこぼしたがそれは要するに男つ振りが好過ぎるといふことだつた。要してこれが私には納得諒解出來る。兎に角この條りを此儘文章に書けば惡文の手本になれる。

△私は今年の消樂を雜誌ときめ、先づ大衆黨に「大衆解放」勞農黨に「勞農解放」民衆黨に「民衆解放」を出させ、一雜誌一ケ月千圓以下の損失で私が其發行を引受け、思ふ存分言いたい放題、厭になるまで種が盡きるまで、有ること無いこと書かせて見度かつた。社民黨では大阪との喧嘩最中で問題にはなつたが物にならず、又考へて見れば赤松君あたりを除けば白柳君等院外團の助太刀なければ賣れるような雜誌が續けられさうもなく、勞農同盟と離れた勞農黨に月刊理論雜誌は天から問題にならず、結局大衆黨の「大衆解放」のみが出ることとなつた。尤も三號でソロ〳〵續くか續かぬか六かしくなつたが。この點から見ると將來無産黨の指導權を握るものは三黨の中ではだらしのある締括りの出來る人さへ出れば、まづ大衆黨ではないかと思ふ。そこへ行くと勞農同盟に次で東京無産黨は偉い。然るに實際に於て一寸もだめなのは何の故か、これはお互に研究すべき題目だと思ふ。

△東京五區では誰が一番點を取るか。この場所は此處が一番面白い相撲だ。此處の無産派投票は三萬前後、大山松岡加藤三君の不動投票各五千、人氣で浚はれる投票が一萬五千、誰かが一人で一萬票浚ふ者があれば一人當選二人は落選、仲よく五千宛取れば一萬票宛で三人が次點級落選と云ふ處ではないかと思ふ。今の處では加藤君が一番景氣よさそうだが、大山君はまだ初めもせず、松岡君もさる者誰がどんな切札を何時出すか知れたものにあらず、及落採點は別問題として兎に角試驗濟三人のこの勝負誠に面白い賭けものだ。

△東京第六區で松谷君と爲藤君の當選と中西君の供託金安全とが賭けられてること其他アンド、ソーオン、エトセトラ等々話したいことと澤山あるが事件のお客樣が待つてるから今日はこの位にしてくれ玉へ、ジャア失敬、また、左樣なら(五・一・二五日談・文責在記者)



手紙三つ

奥むめお

澱んだ水のやうに變化のない家庭に妻として、自らの母性愛にしがみついてゐる友へ、

今日は深川にあるアパート生活をみて來ました。三階建の鐵筋コンクリートで、一つの家屋の下に數百人の家族が住んでゐるのですが、隣り同志でも殆んど何ら交渉がないほどみな獨立簡易な生活が出來るやうに仕組んであります。二階三階の窓から幾人も子供たちが頭を出してゐました。そして向ひ合つたアパート同志で話し合つてゐたり、唱歌をうたつたりしてゐました。ネンネコ着て子供をお負つたお主婦さんが手に持つた鍵をガチヤつかせ乍ら階段を下りて來るのに出會つて私は、時勢の變化といふことを考へずにはゐられませんでした。

鍵さへ掛けて出れば、家ぢうからつぽにしたところで些かの不安もありません。否、さういふ利便の必要からむしろアパート生活は初まつたといふべきでありませう。私の友人の一人は、六疊と三疊の二間つゞき（水掃便所、洗面所、臺所が獨立についてゐる）を十三圓で借りて住んでゐますが勿論共稼ぎですから、朝も夕方も、二人があとになり先きになりして、「いつてゐらつしやい」「只今」をくり返してゐるに違ひありません。

この頃、中央公論社あたりから宣傳され初めて「友愛結婚」といふことが大分婦人の間に問題になつてゐますが、いふところの友愛結婚とはどういふ條件の上に立つてゐるものか未

だ悉しくは知りませんが、とにかく、この頃若い婦人たちが單なる內助者として、夫に從ふ影のやうな妻の生活には堪えがたいものを持つやうになつて來たことは爭へない事實だと思はれます。

私はアパートを參觀しつゝ、友愛結婚なんかしてゐる若い人たちを住まはせるのに丁度いゝなあ、と思つたことでした。日本の過渡的な現狀では、この新しい樣式のアパートも中に盛られてゐる多くの家族は極めて封建的な男尊女卑の主從的夫婦生活をくり返してゐることだらうと苦笑しました。

一時代古く成長期に入つた私などは、たしかに、今日の狀勢と比べては隔世の感があるほど違つた世界を想望しつゝ結婚生活に入りました。あの當時の良妻賢母主義でカン〳〵な女子高等教育ででつち上げられて來たのでしたから、結婚して家庭生活に入るより外落つく所を知らなかつたのは無理もなかつたとはいひ條、今から思へば、あゝした良妻賢母主義の教育は、たしかに婦人にとつてまことに危險きはまる教育でした。

家庭をもつて世の中をみつめることが出來てから、私がさういふ危險思想から脫却することが出來たからこそ、今日この生活心境におちつくことが出來たのだといはねばなりません。何故ならば、昔日の良妻賢母主義は、女の經濟的獨立の必要を考へさせません。(よし事實上經濟上の獨立が多くの女にとつて不可能であるとしても、それが不可能であることについての考察さへ女の頭に用意しやうとしなかつたあの當時の女子教育でした)男子に依食することしか知らない女を作る女子高等教育！ たゞ、經濟的安逸と世間的な良人の地位に淫して、妻となり一生涯の身賣りをしてゐる女！ これが婦人解放運動の上に惡むべき危險思想でなくて何でせう。

從つてこの頃の若い人たちは、たとへ結婚生活に入つても不本意に子供を生むやうな愚かさを敢へてしません。生みたい時にだけ子供を生むのです。母親となることにばかりに女としての生き甲斐を限定しやうとはしてゐないこの頃の傾向をみのがしてはならぬと思ひます。「友愛結婚」は、科學の進步の結果、產兒制限の可能を約束してくれてから初めて成立つたものにちがいないと思ふのです。きつとさうにちがいありません。

婦人問題も、かういふ社會的考察の上に立つて解決の鍵を探ろうとするとき、一道の光明の明るくきらめいてゐるのを

知りつゝもなほ暗中模索の感なきをえないのであります。

高瀨よし子さんへ。

どうしてゐるだらう、といつもその消息を氣にしてゐたあなたと、こないだは、偶然にもよい處で出會つたのに話の途中をへし折られて心を殘してかへりました。

一番最初にまづ聞きたかつたことはお子さんが機嫌よく每日托兒所に入つてゐるかといふことと、パパも、容態がちつとはいゝのだらうか、といふこと。丁度課長の××さんが來たといふので、あなたは私に目くばせをして、もう子供の話はこゝで云ふな、といはぬばかりの態度を露はにしたものだから、さすがに覺りの鈍い私もひやつと氣がついて口をつぐむだ。心の中では、「課長の奴、女に子供があるつてことが何故惡いんだ」と地團太ふむやうな氣持で逆襲してゐたんですけれど。だけど、金四拾二圓なりでつゞいてゐるあなたの首の平穩無事を希ふ私は――それが切れたらあなたの一家は餓死する――だまつて首を垂れて歸つて來ました。

然し高瀨さん。

女が、職業に就かなければ喰つてゆけない樣な事情におかれたとき、職業につく場合に、夫があることとか子供があることとかを、隱して獨身を裝はなければ中々に採用して呉れない世の中は、良妻賢母を女の本領と敎へてゐる今の世の中としては隨分矛盾ね。敎へられるところの道德に從はうとすれば、資本家の道德――いや、道德ではない彼等の利害でした。利害と衝突する――それどころか、何よりもせつぱ詰つた自分自身のあなたの利害と衝突するわけぢやありませんか。その結果あなたはさし迫る自分の利害から雇主資本家の利害の前に降服しました。「私は系類をもたない獨身婦人です」と。

私は、曾つて私の友人がその私生兒を、世間からひた隱しにかくさうとしてゐる卑怯さを詰つて。「これは私が生んだ子だ」と双手で高くさし上げて世間の人たちに大威張りでものが云へるやうになるまで、あなたの母性はほんものになり切れないだらうと、云ひ／＼したことがありました。あなたの場合にもそれが云ひたいのです。

「子供を持つてゐることが何故惡い？ 持つてゐる事が惡ければ母親を職業から解放して、母としての生活に安住出來るやうに早く施設せよ」と逆襲してゆく敗けじ魂の母性です。

今の世の中で、子供と女程保護なき野天に吹きさらされてゐるものはありません。子供は次代を負ふべき大事な存在、母親は、その社會的に重要な子供を育てる力ではありませんか。

　困窮と過勞につきおとされてゐながら、母親と子供の地位について自覺をもたず、何ら保護しやうともせぬ今の社會のまちがつてゐることについて少しの考察ももたずしてその社會に降服したまゝ、不幸を二倍にし三倍にして、益々無理をつゞけてゆく女こそ、絶對に排すべき意久地なしではありますまいか。

　そのためにこそ婦人運動の必要があるのです。個人の不幸と怒りとを社會的に解決つけやうとして協力する心、その心のつながりがあつて初めて婦人運動が强力に成立つのだと私は信ずるのであります。

　大びらにあなたがあなたの子供を愛撫する日を持つためにお起ちなさい。

トウちやんに、

　田舍溫泉に獨り寢のあなたの夢を訪ふものは何でせう。その後もお仕事が出來さうな心境にしづかにお出でせうか。山の夜更は海底のやうに冷えこんで、中々ねつかれない、云々といふおたよりで、私は泣けてしまひました。

　子供たちはまことにあつけない者です。毎朝起きると毬のやうに彈んでやがて學校へ（一人は幼稚園へ）行つてしまひます。學校から歸つて來ても、一度か二度おやつをねだつてしまふと、もう夕刻まつ暗くなるまで電信隊の原つぱの遊びから歸つて來ません。丁度私がルスをしても、一言母ちやんと云ひ出さないやうにお父さんのお留守をも、さも既定の事實かのやうに平然と、それ〳〵の世界に遊びこけてゐるのです。

うなだれた心で、（この頃ずつとさういふ心でゐます）わびしく毎も思ふことですが、子供といふものは、大人が恥しいほどいつも〳〵、同じ氣持できげんよく無邪氣に、朝は起き夜は寢につくものです。いら〳〵したり悲しかつたり、腹が立つたり猫の目のやうに變轉きはまりない心の移り變りそれ自身のために私なんぞは毎日へと〳〵に疲れてまゐつてしまつてゐます。

　さて、こんな感傷にいつまでもひたつてゐられませうか。又忙しい仕事を追ふて（或ひは仕事におはれて）働き出さなければなりません。個人の感傷の前に、仕事は（現在の私の仕事はいかに未だ小つぽけであるとしても）徒らに逡巡停滯することを許しません。

鬼夫婦物語

小泉せい女

まゝ兒がありました。養父母は、そのまゝ兒虐待事件を報道せられて以來、鬼夫婦を以つて呼ばれてゐます。

彼は生みの父を歐洲大戰の時、母は大正十二年の震災の時失つた孤兒であります。實は、その實母といふ人は（これは内密であるが）まだ生きてゐるのであります。けれども他の男と結婚したために子供の養育費として政府から賜る亡夫の恩給が消えるのを惜んで、震災の時戸籍上死んだといふことにして、その兒を自分の夫の異母妹の元へ、まゝ兒として育てて貰つてゐるのです。それで恩給は異母妹の手に渡されてゐるのです。

鬼夫婦――その異母妹夫婦はまことに夫婦仲が良かつたのです。けれども、彼女は前身田舍町の酌婦をしてゐたのをその夫に受け出されたので、そのためか十三年間の結婚生活にも子供を生んだことがなかつたのです。

氣不味い夫婦喧嘩の時より他は、夫婦きりの愛情の中に居たい彼女でした。こんな商賣をした女は殊にこんな氣分には我がまゝであるものです。今迄花柳界で自由に思ふまゝの戀情を晒け出してゐた彼女の家庭も又、そのまゝの延長だつたのです。

母になれない女は、普通の女でも特別の賢夫人でない限りは娼婦的な邪險さを持つてゐるようです。彼女に於てそれは甚しいものでした。無智でヒステリックな慘忍性は一旦ばく發させると抑えようにも抑えられず、摘出しようもありません。

そのまゝ兒が彼女の家族に加つてからと云ふものは、得體の分らぬ遠慮を感じ彼女はその兒から受ける壓迫をどうすることも出來ずいら／＼してゐました。夫に甘えようとする時、嬌態を投げようとする時、はつと身をすくませる。その兒の目が彼女の醉ひ切つた心を怖かせたの

です。カラ〳〵と大聲立てて笑ひこけてゐる時、急に彼女はその兒の眸のひかるのを感じるのです。恨む樣な責める樣なさみしいその兒の眸は、時の經つのと一所に日の流れと共に、ます〳〵彼女に氣味惡く迫るのです。

「良雄が何んだ、私の兒の兒ではないか――」

と嚙み捨てるように云つてはみるもののの彼女はまゝ兒に憑かれたように怖かされ通しです。

こんな六ツや七ツの子供に氣兼ねをする自分が齒痒いかつた。口惜しくもありました。

そこで彼女は、夫婦だけでゐたい切ない心でまゝ兒を遠ざける事にしました。

食事の時まゝ兒は別室で一人で食事をとらせます。自分達は夫婦切りでふざけ乍ら食事をするのです。

然し彼女はやはりその兒の存在が妙に氣になるのです。襖の隙き間からのぞいてはゐないだらふか、何處かで立ちぎゝをしてゐないだらうかと云ふ恐怖ともつかぬ一種の警戒をせねばなりませんでした。まゝ兒を虐待すればする程彼女の意識にまゝ兒の存在が濃くなつてひどく怖やかします。後では彼女は彼を押入れに押し込めて鍵までするのです。鍵が「カチン」とかかると彼女は始めて安心して逃れて來た小鳥の樣に愉快に夫の胸に抱れました。夫は限りなく彼女を愛してゐるのです。彼女には何でも彼でも無條件だつたのです。而しやゝもすれば彼女は押入れの中が氣になります。だが「カチン」とかかつた鍵の音を直ぐ思ひ出しては、その鍵に絕大の信賴と力を得て夫に夢中に甘える事が出來るのです。

後では彼女は食事でない時でも、殆ど終日押入れにその兒を入れておく樣になりました。大小便の用も、そのたびに戸を開けるのが面倒になつて、炊事バケツの古いのを一ツ入れてやり、たまたまに戸を開けて汚物を捨ててやる度に臭いといつてその兒の頭をなぐるのです。食事なども二日目三日目に戸を開けて序に入れてやるのです。

「近頃洋服屋の兒が見えぬではないか。」

「このあいだ瘦せて青い顏をして座敷にゐたのを一寸見た。」とか「病氣なら醫者が來さうなものだ。」とかこんな風評が世の中に立ちはじめて一ケ月もしないで彼女等夫婦は刑事に尋ねらるるところとなりました。

まゝ兒は押入れから出されました。泣

く事も出來ぬ程その兒は弱り果てて居りました。由々しい大事件です。だまつて濟むことではありません。
　彼女がまゝ兒を自分達と一ツ生活に入れることが出來ないやうに、世間の人も又、まゝ兒をまゝ兒として取扱ふことを知つて居りました。俄に街々では騷ぎ出しました。町民會では集會を行ふて、町民としてこの不名譽な出來事をどう取り扱ふべきか、彼女等鬼夫婦に取るべき策を講じ、呪ひの聲は街の隅々にわきかえります。
　なんとまあ恐ろしい鬼だらうか。干殺しにするつもりだつたのだ。いくら嬶天下でも默つて見てゐた亭主も亭主だ。女房連は昂奮して饒舌りふらします。
　實際その子供はひどく榮養不良で、このまゝ十日も放つてゐたら死んでしまふ處だつたのです。警務課からは保護を加へ、町民は寄附を集めその兒を病院へ入院させました。特志な人が交る交る看病にゆきます。
　粥を喰べても、それさへ消化しない。足も立たなくなつたその衰弱のひどい小供を哀れみ呆れながら、醫者や警官や其の他町の有志連が立ち會つて虐待の痕を受けたといふ身體の部所の檢査を行ひました。
　その兒の右の頰は泣いても笑つても少しも動きません。打たれ通して顏面神經が麻痺したのだらうと云ふ事です。頭髮がばかに薄い、癩病患者か梅毒のひどい患者の樣だ。それは極端な榮養不良から來たものだと分りました。心臟も大分弱つてゐる。
　こんな風に、まゝ兒はなるたけ哀れな同情すべきものに仕立てられました。そしてその鬼夫婦の鬼らしい個條を次次につくります。
　義氣に富んだ人達はその鬼夫婦を法廷に訴く爲に醫者に診斷書を求めました。
　ところがお醫者樣の云ふには、あの兒は元來心臟が悪い（それはまだその兒が押入れに入れられない前度々診察を受けてゐたのである。）
　榮養不良ではある、而し現在病狀として腸加答兒がある。腸加答兒と云ふ診斷書は君達に要求されるやうな證據物件にはならない、腸加答兒の原因になるものは樣々であるから。
　顏面の麻痺は、打たれたといふ事實はあるだらふがそのためのものではない。あの兒は兩親から先天的に惡血を殘されてゐる。その病毒は血液檢査をして判明

したのです。それで貴方達の御注文通りの診斷書は書けません。

町の有力者は毎日押しかけて來ては醫者を口說かねばかりにして條件に添ふ樣な診斷書を要求して居ります。警務課からも毎日病院に來て小供の身體についていろ〱調べるのです。これこそ徹底的に處置をしなければと力を入れてゐる由であります。

所が、或る夜遲く、まだその事件の鳴り靜まらない頃でした。そのまゝ兒が入院してゐる病室の外に人の蹲る影が見付つたのです。看病人が近寄つて見るとその兒の叔母、即ちまゝ母だつたのです。逃げようとするのを引き止めたのです。

「晝は人目があつて大びらに出て來れないので――」

と淚をこぼし、淚聲でその兒の樣子を尋ねたのでした。氣づかはし氣に病室の方に眼をやりながら打ちしほれてゐる有樣は可哀さうな位氣の毒だつたと云ふことです。少くともその時の淚は眞實なものでせう。押入れに押し込めて居ても自分の手元に居るのだつたら心配どころか、鬼の樣な心で居た彼女も、手元を放してみると案じられるとみえます。惡み乍らもやはり血のつながりです。

彼女は母親としての愛情を持つてゐなかつたのです。でも表面的法律的に立派な母親です。愛情のない母親にあるものはなんでせう。親權と支配權です。その爲に彼女は叔母としての愛情すら素直に出せない程、その親權に誘惑されてしまつたのです。親の權利、師の權利、主の權利と日本では强者から弱者へ向つて權利主張の要求をしても、弱者から强者へ向つて權利も主張も要求もしないので、これこそ日本古來の最も惡弊だと云つてもいい病であります。がんでもあります。

彼女はこのがんに罹つたのです。母性愛といふものを知らぬ彼女はそのまゝ兒に向つて絕對支配權を持つて居ると云ふ事は、一寸愉快な事だつたでせう。生き物を自由に支配し、その運命を自らの掌中に握つてゐるといふ事は、彼女を親といふ一ツの迷信的な思想に墜し安かつたのです。實事彼女は、彼女の父を思ふ時母を思ふ時、惡罵と叱責から來る鞭より外思ひ出はなかつたのであります。醉興とヒステリーと組み打ちをする中に、彼女は大勢の兄や妹と一所にごろ〱大ほきくなつて來たからです。

獅子が兒を產むと直ぐその赤子を谷底へ突き墜して强弱を試すことは誰れでも

知つてゐる筈です。親の權利はその樣に絕對のものであります。けれども人間の場合は、獸とは違ふから、そんなとうたをされると弱い者は甚だめい惑な話しです。

親の恩は海より深く山より高い――と敎育せられます。親の愛は海より深く山より高い――と敎育せられるようになれば、家庭的な悲劇も少くなつて來るでせう。

恩と愛との心持は同じに取り扱つたのでせうが、何しろ忠孝道式の角四面な性情を多分に持つてゐる日本人であるから微妙な感情の動きなどは默殺して仕舞つて、固く頑丈で壞れない安全地帶に駈け込んで、文字の如く、恩は恩とし義理道理人道とゆき、愛はクリスチヤンかモダンボーイガールの特用詞と心得てゐる私等のことです。物事を法と道との二ツに分けようとする。善と惡と明らさまにしなければ落ち付けない性情です。

鬼夫婦は鬼なるためにまゝ兒をまゝ兒扱ひにしたのではありません。親としての愛情がなかつたのであります。それは尤もな事です。でも恩と云ふものをその兒に强る事を知つてゐたのです。云ひかへれば恩から生れる權利――支配權命令權です。愛から出る義務、責任は第二位に置く。――義務觀念責任觀念なんて、てんでない親さへあります。本能的に支配權命令權を上段に構えてゐるのです。これは長い日本の習慣です。だからこそ女の子供の成長を樂しんで年頃になると賣り飛ばし、年があけば又次へ、まるで株の運用でもする位の輕さで自分の娘にお女郎をさせて居られるわけであります。であればこそ女郎や酌婦が親の爲だからと諦めて呑助親父や浮氣なお袋に金を絞られ血を絞られても、凉しい顏もしてゐられるといふものです。孝の爲なら人を殺しても道とする。まして身を苦界に沈めて孝をつくしてゐると云ふ感情――妙な道德感に醉ふて居る彼女等は最頂の人道を步む如き心持ちでゐるのです。それでも眞の親子であればその親がその子に喰べ物を與へずにゐたとて――そんな事もあるまいが――世の中はうんともすうとも云はないのです。

結局證據不充分でその鬼夫婦は街を追はれました。彼女等の事であるから今頃は何處かで夫婦切りのスキ燒鍋でもつつき乍ら呑氣な暮しに、鬼夫婦になつたゆはれさへ忘れてしまつてゐるかも知れません。

芋畑

武内利榮子

百姓等が芋を掘つて持ち歸つた
荒された芋畑だ。

「子供達よ、ザルを持つて來い」
古鍬を持つて良人は裏へ飛び出した。
一錢の駄菓子も買つてやれない
日である事を
菜つぱの漬物におかゆをすゝつた
日である事を
私は暗然と考へた。
だが……だが……
世にも珍らしい芋掘りに
子供達ははづみ上つてゐるではないか
「パパ出たよ……」
「また出たワアー」
芋畑のこのかんせいを
私はよろこんできいていゝのか
ザルに積まれる屑芋を
私はよろこんで見ていゝのか
世のあらゆる幸福よ！
世のあらゆる不幸よ!!
空々しい假面をはぎとれ……
芋を盜む親の心は
芋を拾つてよろこぶ
幼い子の心の延長ではないのか
おゝ太陽よ
この屑芋が
甘く甘く實つてゐる事を
私は信じてゐていゝのか。

婦人運動ニュース

一ケ年に四十五萬の少年少女が薄給な勞働市場にさらされる

現在上は大學から下は小學校にわたる一ケ年の卒業生總數はざつと二百萬、內、小學校卒業生が百八十萬人、中で、上級の學校に進む者が四分の三、そして四分の一を占める四十五萬の少年少女は年々勞働市場へ送り出されてゐる。生未だいとけないこれらの人々の小鬪士たちの收入はいくらか？とみるに、全國二十三府縣の平均統計は、

日給 最高一、八七 最低〇、二二圓
月給 四〇、二九 四、二六圓
年額 二九〇、四四 二三、三三圓

平均日給が十六錢、月給で十七圓の薄給である。

でかういふ子供を働かせなくてもすむ樣に、貧乏防止策が一番肝要であるが、さしあたり、賃銀や、時間や、待遇などに亙り少年少女勞働者保護機關を整へる必要も實にさし迫つた問題である。

鹽が下がつた

政府專賣品の一つになつてゐる鹽の値が下がつた。但し百斤あたり十錢の引下げ。（一月一日より）鹽生產關係の諸物價や勞賃の低落と、不良鹽田を整理した結果平均生產力が增進したためである。專賣品である煙草の値下げといふことも、すでに輿論の歸するところである。値下げすべし。

五十七議會解散

與黨の民政黨が百七十三名野黨の政友會が二百三十六名といふ絕對多數を制して不安定な政情の上に招集された議會は休會あけの一月二十二日解散された。

總選擧は、二月二十日。

國民はわれらの代表を選ぶに誤りなかれ。

賃銀を上げろと市役所へ

賃銀の三割値上げ、馘首絕對反對の旗を押し立てて、大擧市役所へ押しかけようとした、關東自由勞働組合の百餘名は東京驛附近に集合した所を、官憲に嗅ぎつけられて鬪士十數名は檢束された。



◇緊縮に明けた昭和五年の寒さよ。不景氣風はどこまで吹きつのらうといふのであらうか。

たゞ、われ〳〵はこの不景氣に壓しつぶされてはならぬのだ。決して社會の健康狀態ではないこの不公平不合理きはまる不景氣の正體を檢討しみつめて根本退治策こそ肝要であらう。

◇海を越えたアメリカの自動車王フオードの日本工場、よこ濱にあるフオード自動車會社では最低賃銀五圓であつたものを値上げの六圓といふトツテも素晴しい云ひ渡しを米本社よりの電命によつて行ひ、羨しがられてゐる。そして四百餘名の全從業員は一切に增俸の由。減俸や首切りをもつて能事をはれりとしてゐるそこいらの人達に賞

◆金解禁！（愈々十一日斷行）

金の輸出禁止令がいよ〳〵こゝに解かれて、わが國の經濟界が國際經濟界の常道に復歸したのである。大正六年九月以來、十二年三ケ月振りのことになる。

然し、簡單にわが國の經濟界が國際的に一人前に貰ける樣になつたのだとカラ喜びをしてはいけない。このために得をするのはほんの一部少數の金融資本家だけだからである。金解禁に依る緊縮と産業合理化運動は、大多數を占める無産者の生活をまだ〳〵手ひどくおびやかして、失業と勞働强化の泥沼につき落すばかりである。

元來、解禁を斷行するには豫め、そのために直接の打擊をかうむるべき一般無産者（農民、勞働者、小市民等）のために相當對策を講じて生活安定策を樹てゝからかゝるべきであるにも拘らず、政府はその方には少しも手をそめやうとしてゐない。失業對策、減税、行政の整理、金融の整備等々――不景氣はます〳〵深刻になる。少數の金融資本家はそれらの犧牲の上に益々强大なる地步を固めてゆくのである。

無産者の生活權を守れ！

カフエ女給の訴へ

私の勤めて居るカフエーでは引續き一日五十錢のお出錢を取つてゐる。出すのが厭ならやめろと、脅迫です、年中無休で休んだ日も取る一日五十錢です。從つて無暗と女給を增加して不當利得の增收をはかつてゐます。

高價な服裝を强制する事甚しく特に季節每にお揃ひの訪問着を强ひ營業主は大變な利鞘を取ります。マダムは暗に貞操を賣つても作れと云ふ非道さです、店以外では使用出來ぬ馬鹿らしい派手な服裝費の無理算段から墮落する女給が如何に多いかお察し下さい。

辨償の苛酷な事は想像外で、私共が器物を破損すると倍額以上の辨償です、最近は蓄音器の修理代も私共の負擔、ダスターも强制發に洗濯屋へ出させ洗濯代の頭をはねる强慾さです　抑賣附かけも甘い客や醉客にはマダムが盛ん-やります、其他バツト十錢敷島二十錢電話五錢等何れも不合理な暴利振りを公然とやつて居ります。

何卒强慾非道の不良營業者を一層御取締下され度く（正子）

東京女子藥學校盟休

創立二十五年の歴史をもつ女子藥學校の生徒三二〇名は卒業生の有志と組んで盟休に入つた。生徒側の苦心にも拘らず、昇格運動に校長が冷淡だといふのである。

銀を高くして能率の增進をはかうとするこのアメリカ式策こそ痛快な見せしめではないか。

◇

九ケ年の長い日數かけて最近に漸く完成に近づいたと報ぜられる刑法改正の草案を御覽。

目ぼしいものゝ第一に「夫にも貞操の義務あり」妻の姦通だけを罰してゐたのを男女同權夫も妻と平等に姦通罪にとはれることになる筈。

女中とか其他の名儀で雇入れた未成年婦女子に對する姦淫罪といふものが新しく出來て、貞操蹂躙の男子嚴罰の掟てが出來る。

◇

ロンドンに催されてゐる軍縮會議に出かけて行つて、婦人の力で理想的國際平和會議の成果あらしめやうといふ大望を抱いたガントレツト恒子女史林歌子女史が途中アメリカに寄港したところ彼地の婦人間に大センセ

勞働組合法案に兩方から反對

内務省では勞働組合法案の草案が出來たので今期議會を通して實施しやうとしてゐるが、こゝに資本家側から猛烈な反對意見が出た一方、勞働者側からも社民黨所屬の五勞働團體より反對決議をもちこんで來た。大略次の樣な趣旨に依つて反對意見である。（左翼勞働團體はなま反かなこんな骨拔き組合法案が出來ることは反つて勞働運動の邪魔になるといふ立場から反對してゐる）

勞働團體側では

一、勞働組合法案をたゞに勞働者に限らず｜て、被傭者といふ言葉に改めて、俸給生活者も網羅した範圍に適用せよ。

一、はつきりと勞働組合權をふみにぢつた雇主は罪罰に處することを書入れよ。

一、平おん合法的に裏切者の監視を行つたときは所罰せぬこと。

一、内務省案が勞働組合の監督權を行政官廳又は主務大臣に附與してゐるが、違法のときのさばきは常に裁判手續による樣改めること。

ところで雇主側では近頃珍しいことに全理事が打ちそろつて總理、内務、商工大臣を訪問して反對陳情に出かける勢ひであるが、その骨子とするところは、

一、勞働組合の中の勞資協調的團體を疎外し、雇傭者及びそれと利害を同じくする者を除外して組合を作らせることにしてゐるのは穩當でない。

一、勞働組合員たるの故を以て勞働者を解雇してはならぬといふ規定は危險思想の注入者があつてもこれを如何することも出來ぬ事情におくわけで、不穩當である。

一、勞働組合のやうな、産業組織の根本に重大なえいきやうある制度は、わが國の現狀からみて時期尙早である。

といふのである。

婦人と總選擧戰

選擧戰に婦人はなくてならぬ者になりつゝある。無産各黨はそれ〳〵に支持する婦人同盟があつて、應援隊を作つておさ〳〵準備おこたりなし

政黨關係を白紙の中立においてゐる婦選獲得同盟では、全國的に各婦人團體と提携して婦人の立場から一路革正運動にまい進することとし、立候補者の應援演說は選擧の本質上無用であるといふ見地から全然排することにした。

教科書値下げ決定

國定教科書の値下げ問題について次のやうに決定した。

一、教科書全部を官營にすることは理想であるが、それには準備と資金を要することであれば從來通り當分私設の會社にまかすこと、

一、但し凡そ二割方の値下げをさせるやう協商すること

一、共同販賣所は二重の利益をむさぼるもの故廢止すること。

ーションを起した●ニューヨークの婦人平和運動聯盟では日本婦人の熱心な平和運動に刺戟された、われらも代表を撰んで派遣しやう、英佛その他へもこれを勸誘しやうと一決したさうである。

然し、樂觀的センチメンタリスト平和論者たちよ。世界の不平和は五人や十人の女の傍聽者の參加位でつみとらるべき癌では決してない。もつと經濟的社會的に由來してゐる平和不平和の蕊を摑み出すべし。(三八頁參照)眞に恒久平和を希ふものたちのなすべき方途はおのづから別にあらうといふものだ。

◇

東京市社會局立案による勞務者共濟會——

勞働者就業一日に付き五錢宛據金すること、傭主も雇入れた勞働者一人につき一日五錢を據金し、これに政府及び府市の補助金を加へて供附金の財源とすること。災害給付事務上の事由から疾病にかゝつた者、負傷死亡のときは療養費傷害手當、傷

一、昭和五年度より直ちに實行することは困難事情あり、六年度よりのこと。



職業紹介所へおしかけた少女のむれ。

◆一方に試驗地獄 ——他方に自治講座——

中等學校女學校へ入學する少年少女のため校長の内申に不正事實が尠くないといふことがバレてから再びもとの筆記試驗主義に逆戻りして受驗地獄につきおとされた。ある級如きは全級の六割が家庭教師を雇入れて準備教育をうけてゐといふ。三時間四時間、六時間といふ長い勉學時間を毎日とつてゐる子供も尠くないといふしらべである。

正月もなく春もなへ少年少女の上に光明はいつ來るだろう。と一方には、現行の女學校中學校にあき足らぬとする人が非常に多くなつた。もつと生きた人生に役立つ人間を作ゞ教育へ、勞働と教育とを併せて授ける學校を、といふ要求が盛んになゝて來た。都會偏重主義から・郷土主義の上に、それ〴〵の土地に即して教育をやり直さうといふ主張である。

劃一的な女學校教育でなしに、農閑期利用の女塾、短期講座又、當局より與へられるまゝ補習教育でなしに生徒が自發的に求むる學科目を中心にして實地から討議へ、研究へ、さうして更に實行への自治講座の流行である。

女學生往來で毆らる

或日午後五時頃二〇歳前後の女學生が町の通りで勞働者風の男にポカリ〳〵毆りすえられてゐた。

取調べてみると男は、四谷區永住町の木賃宿に止宿してゐる花の行商人(某)三五であつた。不景氣で商賣は上つたりであり今日も花が少しも賣れなかつた。薄暮れにくしや〳〵してゐる處へ通り掛つたこの女學生が贅澤な身なりをしてゐるのが癪だといふので急に毆りたくなつたのだといふ物騷な話。

害扶助料を支給す。死亡した者は遺族扶助料及び埋葬料を支給。傷病期間中は一日一圓の支給、五十日以上にわたるときは半額、九十日を越えるときは中止。

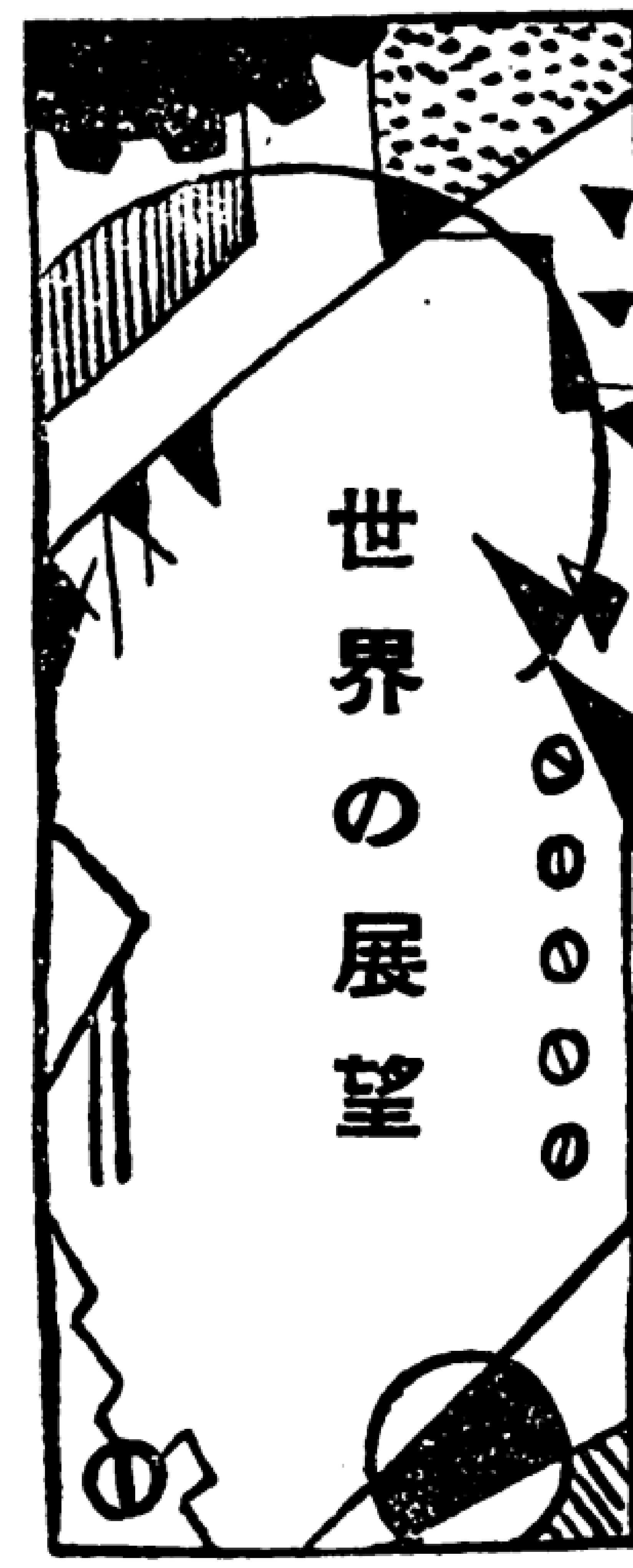
失業給付は三日以上連續した失業したときは四日目から一日七十錢を支給(但、三日間に限る)勞働爭議や負傷疾病に依つて勞働が出來なくなつたときや故意に就業しない時、勞働を拒んだ時などにはその失業に對して給付しない。

この案は、すでに神戸市で行つてゐるところのものである。

◇

いよ〳〵總選擧戰の幕は切つておとされた。選擧革正のために婦人も、大いにこの戰ひにわりこんでゆかうでないか。

女の應援辨士がほしい、といふ依賴狀を又、山のやうに受けねばならぬ時が來たのであるが應援するならばこの候補者の屬す政黨を第一に吟味すること。



軍縮會議は成功するか

◇

一九三〇年の國際政治問題の渦巻きは、ロンドン軍縮會議を中心として卷起された。

我々は此の會議の有つ意義を、さ程重要視するものではないが、國際關係の矛盾と其の傷口とを明さまに現すものとして、また極めて複雜な國際關係を最も正確に、分り易く再現するものとして此會議を眺めたいと思ふ。

先づ軍縮會議の意義を、概括的に次の如く考へるものである。

軍縮會議は先づ第一に、英米對立の極めて尖鋭化された狀態をどう引戻すか、又はどうそれを解消するかを主題として

考察するであらう。更にそれは、佛獨對立、日米對立、英佛關係等の將來をどう導くだらうかの問題にも一つの解答を與へるものである。

次に軍縮會議は、今日國家財政を破綻に導きつつある帝國主義的諸失費を、現狀のまゝ輕減、あるひは削減して世界覇權の獲得運動を緩和し得るか、若しくは中斷し得るかの問題にも正しい解答を與へるであらう。

次に軍縮會議は、先づ今日の國際關係の諸狀態を基礎として軍縮が出來るだらうと考へてゐるイギリス勞働黨の——從つて第二インターナショナルの認識を完全に具體的に批判し清算するであらう。從つて更に軍縮會議は、社會民主主義運動の前途に橫はつてゐるコンクリートの障壁たる帝國主義問題を社會民主主義的方法で突破し克服し得るだらうかと云ふ問題に一の見透しを與へさせるものである。

◇

イギリスの海洋の覇權が動搖し初めた。世界の海洋を獨占し、嘗ては二强國の海軍を標準として其の艦隊の優勢を保つて來たイギリスが、最近財政の疲弊に依つて其の優勢を續けることが出來ず、殊には無際限な財力を背景として挑戰し來

つた合衆國との造艦競爭に克つ見込みがなくなつたため、現狀の優勢――少くとも劣勢ならざる狀態を基礎として造艦競爭を一時中絶する必要があり、この必要を主張代辯させる道具として勞働黨內閣が選ばれたわけである。

合衆國が經濟的優越を世界的に保障するためには、軍備上の世界覇權を獲得しなければならない。殊に一ばん目の上の瘤なのは、イギリス植民地國であるから、之を破壞することゝ同時に世界の隅々まで合衆國資本の市場たらしめることとは、アメリカ帝國主義の歴史的使命であり、併せて其の造艦運動の基調でなければならない。しかし乍ら合衆國は年來、平和的扮裝を以て世界を欺いて來た。モンロー主義も、機會均等主義も門戸開放要求も實質的內容は別として世界平和の名で呼ばれて來た。從つてマクドナルドの提言に對する一應の順應は、兎に角も必要では、あつたのである。

◇

茲に最も滑稽さを感じさせる一つの僞瞞がある。それは所謂比率問題である、日本の代表が特に力を入れてゐる點は、例の十、十、七の比率を基礎とする原則問題である。此の比率にとつて最も根本的な前提は、英米海軍力の現勢を如何に縮少さすべきかにある。しかも日本代表は、斯かる前提に對しては常に一言も發表してゐない。

若し之を英米の現存海軍力を基礎として考へるならば次の如き結果となる。

先づ主力艦の英米日の總噸數に於いて之を見れば、

イギリス	五五八、九五〇噸
合衆國	五二五、八五〇噸
日本	三〇一、三二〇噸

此際十十七の比率はイギリスを中心に考へると合衆國にとつて三萬三千噸日本にとつて九萬噸の造艦を必要とし、

更に巡洋艦の場合を見れば、

合衆國	二五四、四二五噸
イギリス	二四四、一四〇噸
日本	一三六、七五五噸

であり、十十七の原則は、イギリスにとつて二萬噸の造艦、日本にとつて四萬一千噸の造艦とならねばならぬ。

◇

更に驅逐艦の場合を考へる。驅逐艦に於いて絶對に優勢を持續してゐるものは合衆國であり、其の現勢は、

合衆國	三一八、四一五噸
イギリス	二一一、五五五噸
日本	一〇〇、五八七噸

之に對する比率の適用が果してどうなるかは暫く問はない。茲に注意すべきは、驅逐艦潛水艇等の問題が、其海軍根據地問題と離れて論議されつゝあるは、此等の代表者の軍縮に對する無誠意を物語るものであつて軍縮會議を如何に形式的限界に止めんとしてゐるかを大膽に告白してゐるものである。

軍備縮少がブルジョア政治家にとつて如何に困難な問題であるかは、總て上記の事實が之を裏書してゐる。所謂帝國主義政策に對して之を廢棄する方法をとらずに、問題とされる軍縮は、結局戰爭の技術的條件の限界――わかり易く言へば百人の步兵よりも機關銃を持つた十人の兵士或は、、大艦船よりも、攻擊力ある潛航艇、戰鬪艦よりも航空母艦と言つたやうに戰術と戰器の進步とに順應する程度以上には出ないものである。

◇

資本主義の高度の發展は、世界の各强國を全く帝國主義的敵對關係の中に逐ひやつてしまつた。其結果として、際限なき軍備競爭は行はれ、其の軍備競爭は、最も資本力に富める所を標準として行はれた。合衆國以外の帝國主義國が如何に軍備競爭のためにその財政を疲弊せしめつゝあるかは茲に詳述するまでもない。

帝國主義政策は合衆國を除く各國に於ては、全くの重荷である。しかしながらそれは不可避の重荷だ。無產階級の進出を除いて此の重荷を逃れる道はない。茲に資本主義の重大なる矛盾が伏在する。帝國主義政策こそは、無產階級の位置を現狀に繫ぎとめ、資本の專制を持續するものであるが、それは併せて國民經濟に於ける負ひ切れぬ負擔となる。此の矛盾と相剋とに對して一つの解熱劑を投んとしたものが軍縮會議の招集である。しかしながら解熱劑は、遂に解熱劑である。熱を發するには自らそれに相應しき病源が存在しなければならない。併も其の病源に觸れず、解熱劑のみを服するは、遂に健康を損ずるに至る道である。況んや帝國主義の病旣に膏肓に入つて漸く其の終末期に近けるに於いておやである。

◇

イギリス勞働黨內閣は、其の政權を安定させるために、ボ

ールドウインの所謂『イギリスの常識』と妥協した。勞働黨內閣は資本課税、對露接近、失業保障等の社會主義政策を曖昧にする事に依つてイギリス資本家との正面衝突を避けてゐる。從つて勞働黨內閣の有つ現下の地位は、要するに、資本の消極的政策の一代辯者に過ぎないのである。

イギリス勞働黨の『輝ける傳統』は之では承知出來ない。無產階級の自覺は斯かる條件の下に於けるマグドナルドの執權を決して歡迎するものでない。玆に勞働黨內閣の煩悶がある。

イギリス海軍は、衰退の過程にある大英國にとつて頗るの重荷である。少くとも合衆國との造艦競爭には無制限に堪え得るものでない。殊に屬領、植民地の分離背反は、過去の軍事的な政策が決して成功してゐないことを物語つてゐる。其の點はイギリスブルジョアジーも百も承知のことである。

マクドナルド內閣は此點を充分に利用しやうとした。資本の消極的要求を背景として、軍縮會議を提唱し、內政問題に關する無產階級的關心を外交問題の上に轉換しようとした。

從つて軍縮會議の成功と否とは、直ちに、勞働黨內閣の運命、從つてそれを中心に旋回しつゝある第二インターナショナルの運命に影響する。それは併せて帝國主義政策の現象形態のみを把握せんとする誤まれる認識の妥當性を決定することゝなるであらう。

兎にも角、軍縮會議は、第二インターナショナルの、從つて社會民主主義の重大なる試金石である。之が成功と否とは此等の人々及運動の世界政局に於ける重要性を決定するものであり、我々の大いに刮目して見なければならぬ所であらう。(廣瀨庫太郎)



物價と消費税

牧野輝智

わが國の租税收入は年に約八億九千萬圓になる。

その租税收入の中消費税（關税をも含む）の額は五億圓であるから――これに煙草專賣の益金一億七千萬圓を加へたら六億七千萬圓になる。――全體としての租税に對する消費税の割合は六割强にあたる。英國や米國の歳計をみると、この比率は年に依つて多少の相異があるとしても我國のそれよりは遙かに少なく大體三割五、六分見當になつてゐる。消費税の割合が多いといふことは細民の負擔が比較的重いといふことであるから、社會政策として忌むべきことである。何故なら、消費税は、それが掛けられただけそれだけ物價を高くするものであるから、その物資を消費する者は全て富豪であらうと貧民であらうと頭割で同額の税金を納めることになり極めて不公平だからである。

元來、租税を賦課する原則が、税金を擔ふ力のある者から多額にとり立て力弱いものには少く課すべきであるのに、消費税のやうに一樣に消費者からとり立てる額を多くしておくのは間違つてゐる。

今一つみのがすことの出來ぬのは、物價問題の見地からであるが、斯やうにして六億七千萬圓からの巨額の消費税をかけて、それだけ物價を釣りあげておくといふことは一般物價の上にも直接間接に波動を及ぼしてこれを刺戟し昂騰させるものである。

消費税は徴收されただけ生産費の中に加算されて物價の上に加へられるものであるが、一應は生産者又は營業者が納税

しておくものである。たゞ、その税金が悉く消費者が支拂ふ物價の中に轉嫁され、目に見える税金としてわれ〳〵のふところから取立てゝゆくわけである。

内國消費税

間接税消費税と一口に云つても、内國消費税と、關税と、煙草專賣益金との三つに分けて考察することが便利である。然し、嚴密な言葉で云へば現行法の消費税とは、酒税、清涼飲料税、砂糖消費税、織物消費税の四種である。以前には石油消費税、醬油税、通行税、賣藥税などいふものもあつたが大正十五年の税制改革のとき廢止した。

酒造税と酒の値段

わが現行法で酒税といふのは、一、酒造税、二、ビール税三、アルコール及びアルコール含有飲料税の三つであるが、第一種は清酒、濁酒、白酒、みりん、燒酎の五種に對して一石につき最低三十六圓から卽ち一合四錢程度の課税である。ビールについては一本九錢の消費税、アルコール含有飲料はアルコール分が增す程高率に四十圓位まで課せられる。

酒造税は大正十五年に改正されて一石につき三十圓であつたものが四十圓に增税されたからそれだけ市價は昇つた。因みにわが國の歲計表に表はれた昭和二年度豫定收入の酒造税は二億八千萬圓である。(酒造高五百四十萬石、ビール釀造高八十萬石、昭和二年度) つまり二億八千萬圓といふ税關係だけわが國の酒の値段は高くなつてゐるわけである。

砂糖の値段と消費税

わが邦の内國消費税で酒税についで高いのは砂糖消費税である。昭和四年度豫算には砂糖税の收入八千二百萬圓と記されてゐる。

これは、黑砂糖には百斤につき一圓、
白砂糖には　百斤につき八圓三十五錢
氷砂糖には　百斤につき十圓

の課税である。

文明の程度は砂糖の消費量に依つて分るとまで云はれてゐるのであるが、わが邦に於ても、大正元年に三億七千萬斤の消費量を示してゐた砂糖が、昭和二年には十三億五千萬斤といふ激增である。八千二百萬圓の砂糖消費税の收入があると

いふことは一ケ年に八千三百萬圓だけ高い砂糖を國民は一様に買はされてゐる結果になるわけである。

織物の値段と稅金

以前には全ての織物に課稅をしたものであるが、大正十五年加藤高明內閣の當時社會政策的見地から綿織物に對する課稅を廢止した。昭和四年度の織物消費稅收入豫算は三千九百萬圓である。これは、織物の價格の百分の十の課稅をする

サイダー類の市價

これは大正十五年より實施された新しい稅法で、昭和四年度の收入豫算が四百萬圓、サイダー、シトロン類には一本につき二錢、ラムネには一本七厘位の稅率である。

關稅

關稅は國內消費稅に相對する國際稅であるが、結局物價の中に加へられて消費者が支拂はされるものであるといふ點で立派な消費稅である。たゞ、內國消費稅が、國費を調達するために財政的見地から徵收するもので、關稅は、國內の產業を保護するために外國から輸入されるものに一定の稅金をかけるものであり、從つて關稅收入は國庫としては從位にみるものである。關稅障壁が、國內の產業を保護するといふ美名の下にその實は、ほんの少數の企業資本家の利益を圖るだけであつて大多數の消費者はそれだけ余分に高いものを買はせられるといふ點で批難されるのはこのために外ならない。

例へば、日本が臺灣を領とする以前は、ほんの少數の黑砂糖が出來ただけで精製糖はみな外國から輸入され、一種のぜいたく品と目されてゐた。日清戰爭後臺灣がわが領土となつたのであるが、同地は甘蔗が澤山にとれて有望な製糖業地であつたけれど、ジヤワあたりから非常に安くて良質の砂糖がどし〳〵輸入されて來るので此の地に砂糖業を發達させること六ケしい事情下にあつた。この點を憂へて、外國から輸入せられる砂糖に對して、臺灣の製糖業が十分競爭に堪へるだけの保護關稅をかけることにした。そのおかげで、臺灣は今日見るやうな製糖業の發達を來たしたのである。

ところで輸入される砂糖に課せられる關稅はどれ程かとみるのに、たとへば百斤の白砂糖があるとしてその値段を二十五圓とすれば、これが全部內地で出來上つたものであれば、

その内に含まれる税金は内國消費税の八圓三十五錢だけであるが、外國の粗糖を原料として精製したものであればまづ原料たる中双に對して、百斤につき三圓九十五錢の關税がかゝり、それを精製して白砂糖に八圓三十五錢の砂糖消費税がかゝつてゐるから、市價二十五圓の内の半分が税金として、(十二圓三十錢也)加算されてゐる計算になるわけである。

これが少し劣等品の中双である場合には、中双百斤の値段が十九圓として、これが内地産であれば消費税はその内の五圓(原料を)輸入した品であればその外に三圓九十錢の關税が加算されてゐるわけで、卽ち、内地産の砂糖の課税金額は値段の凡そ三分の一で、外國産品を原料として糖製したものは値段の二分の一が税金である。

關税は砂糖ばかりに課せられてゐるものではない。多くの工業原料、農産物の外に、總價十割課税といふ重税の贅澤品關税がある。

煙草の收益金

專賣は國家の收入を殖やすために政府の意志で値段をきめて賣る制度である。わが國で行はれてゐる專賣品は煙草と、鹽と、樟腦とであるが、鹽と樟腦の收益金は殆んど問題にならぬ程僅少で多くは煙草である。

政府の專賣收益金(昭和四年度)

煙草	一億七千九十二萬六千圓
鹽	五十八萬六千圓
樟腦	(缺損) 三萬二千圓

合計一億七千一百四十八萬圓

右の表が示すやうに煙草の專賣に依つて政府は一億七千萬圓からの收益をあげてゐるわけで國民が一ケ年に煙にするたばこの値段は、尠く共生産實費よりは一億七千萬圓だけ高いものについてゐる勘定になる。實に强制的な暴利ではないか

專賣にしてゐるために煙草の益金が、比率に於て實際の生産費よりはどれ位高くなつてゐるかについては絶對秘密とされてゐるのであるが　關税として輸入煙草に課せられてゐる税率が三十五割五分であるところをみると、およそ三十五割以上の税率でとり立てられてゐるものとみてよい。十五錢の朝日一個の生産費は五錢以下であることは確かだ。煙草ほど高い消費税をかけられてゐるものはない。

各無産黨の現狀

七花八裂の現狀を建て直すものは誰ぞ

議會の解散を見越して各無産政黨は早くも總選擧の準備に沒頭し日本大衆黨の如きは逸早く候補者の發表までなし、選擧氣分は既に各無産黨の陣營にみなぎつてゐる。

しかし大衆黨の提唱による選擧協定の氣運が動いてゐるといへ、無産黨の戰線は分裂と新政黨の續出とで全く四分五裂の有樣で、既成政黨を向ふにまはしての戰ひに臨むには餘りにも足並が亂れ勝ちである。前回の總選擧當時と今日の無産黨の分野とは著るしく相違を來してゐるので今中央および地方の各無産黨の現狀を記せば次の如くである。

社會民衆黨

右翼の社民黨は昨年十二月十日の大會で分裂を來し大阪の全國同盟の脱退を見、更に今年に入つてから黨の反動化に反對して濟黨運動を起した宮崎龍介氏を除名し同氏一派の脱黨となり、これがため鈴木(大阪四區)西尾(大阪三區)氏等の地盤に少からぬ影響を與へるに至つた。黨本部役員は中央執行委員長安部磯雄、書記長片山哲、執行委員は鈴木、龜井、松岡、赤松、米窪氏等十四名、支持團體は日本勞働總同盟、日本海員組合、官業勞働總同盟、海軍勞働組合聯盟、日本農民組合、總同盟勞働組合共同研究會、全國俸給者協會、工友同志者、日本借家人組合等で、地盤は北海道、宮城、福島、靑森、栃木、群馬、東京、神奈川、長野、靜岡、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、廣島、高知、福岡、鹿兒島、長崎、熊本等にある

日本大衆黨

舊日勞、舊日農、舊無産大衆、舊九州民憲等いはゆる七黨合同によつて戰線統一に乘りだした日本大衆黨は幾何もなくして波亂を來し、日農系無産大衆派は黨より離れ現在の日本大衆黨は舊日勞と舊九州民憲の二勢力から成つてゐる。大衆黨は中間的の立場に立つて居り役員のうち中央執行委員長は麻生久氏、書記長は河野密氏で顧問には杉山元治郎、松谷與二郎、高橋龜吉、賀川豊彦、加治時次郎氏等が顏を並べ、河上、淺原、吉田、三輪、坂本、加藤、淺沼、田所、氏等十四名が常任中央執行委員となつてゐる主なる支持團體は日本勞働組合同盟、日本勞働組合總聯合、橫濱市從業員組合、神戶市從業員組合等で、全國農民組合の一部もこれを支持してゐる．地盤は東京、神奈川、大阪、兵庫、新潟、秋田、山形、靑森、福岡、高知、愛媛、愛知、群馬、栃木、茨城、埼玉、長野、和歌山、長崎、鳥取、島根、山口、岡山等の諸縣に持つてゐる。

勞農黨

三・一五事件の餘波を受けて、舊勞農黨が三年四月十日解散せられてから新黨組織準備會が生れ、同年十二月勞働者農民黨の結黨大會に臨んだが大會は解散を命ぜられ新黨準備會それ自體も解散された。その後運動は政治的自由獲得勞農同盟に轉形したが昨年八月に至り大山、上村、細迫三氏は新勞農黨樹立の提案をなし十一月二日現在の合法的左翼無産黨勞農黨の結成を見た。これよりさき水谷長三郎氏は舊新黨準備會から絕緣し、山本宣治氏は不慮の死にあひ、現勞農黨は一人の所屬代議士も有してゐない。本部役員は中央執行委員長大山郁夫氏書記長細迫兼光氏、執行委員上村、神道、奥

村、小岩井氏等二十九名、支持團體は大阪金屬勞働者組合、大阪木材勞働組合、東京交通勞働組合(一)部東京金屬勞働組合、自由勞働自治會、全小樽勞働組合、借家人同盟神戸金屬勞働組合等で全國農民組合の一部もこれを支持してをり東京、大阪、京都、新潟、神奈川、兵庫、北海道等を主なる地盤としてゐる。

全國民衆黨

社民黨から脱退せる全國同盟と宮崎龍介氏一派の勢力より結成され十五日結黨大會を擧行した。全民黨は社會民主々義を標ぼうし執行委員長および書記長は當分缺員のまゝとし、宮崎、田万、山内、古野、非關氏等中央執行委員の會議制をとり、顧問には高野岩三郎博士を擧げ、目下のところでは大阪および東京を地盤としてゐる。

以上の社民、大衆、勞農、全民は中央無産黨であるが右のほか

地方無産黨

としては水谷長三郎氏等の勞農大衆黨(京都)があり、岩手無産黨、大和無産統一黨、中國無産黨、宮城大衆黨、千葉勞農黨の諸黨共に無産政黨戰線統一協議會を組織してゐる。また十五日大阪で結黨式を擧げた無産大衆黨もこれに加盟するはずである。

日本大衆黨から分裂した舊無産大衆黨系はしばらく大衆黨分裂反對同盟を組織してゐたが昨年十二月東京無産黨を結成し、堺利彦氏を顧問に擧げ中西伊之助氏が中央執行委員長となつた。同じく日本大衆黨より分離した舊日農系には平野力三氏の山梨農民勞働黨があり、その他北日本民衆黨、關西民衆黨(大阪)、中部民衆黨(岐阜)、神奈川自治黨、群馬民衆黨、秋田無産黨、九州勸勞黨等幾多の無産政黨が介在してゐる。

この戰線分裂にそしてそれ〲に各婦人同盟が分立してゐる。

社會黨系――社會民衆婦人同盟
日本大衆系――無産婦人聯盟
勞農系――勞農婦人同盟

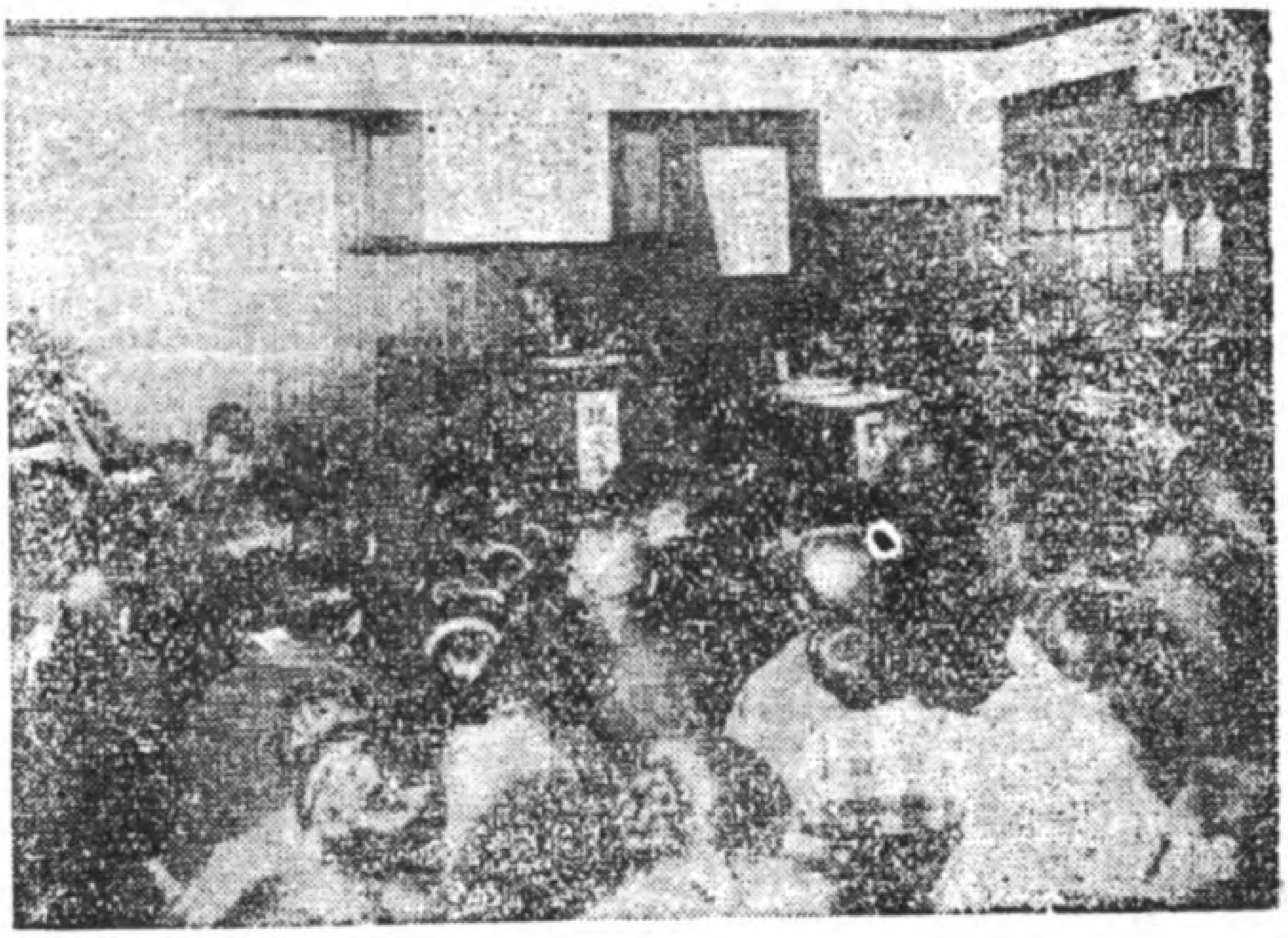
どちらも意氣は汪んなれども極めて少數の微力な同盟で、惜しい力の分散をつゞけてゐる。

無産中立の立場からどちらにも偏らずどちらからも利用されどちらからもその灰色を批難されてゐる形の奥むめお氏らの提唱で無産黨婦人協議會が出來たが、かういふ不偏不黨の團體を有力にしてゆくことは必要だ。(XYZ)

政友幹部會
原田代議士入黨

政友幹部會原田代議士入黨政友會では十六日午後一時半から本部で幹部會を開き犬養總裁水野顧問各總務各部長幹事長各幹事出席森幹事長から左の報告あつて同二時散會

一、熊本縣(第一區)選出代議士原田十衞氏(無所屬)が犬養總裁、松野總務、森幹事長の紹介にて入黨
一、十九日午前十一時院內外役員聯合協議會
一、十九日午後二時院外團大會
一、二十日午後二時の定時大會において常議員の改選を行ふ尚大會打合せのため同日午前十時幹部會、同十一時常議員會
一、二十一日午後六時帝國ホテルにて代議員招待會



一月二十五日、本所中の郷にある質庫信用組合の第二回總會が行はれました。
これはいはゞ、組合組織の質屋を經營するものであつて、一般の質屋が質物を抵當に金子をかして金利を儲けるだけの營業をやつてゐるのを不可ないとして、組合員相互助け合ふ樣に零細な出資金を出し合つて

農村託兒所

平田のぶ

一

現在の農村婦人は如何なる層の勞働婦人よりも悲慘である。彼女達は農村に生れたといふ偶然によつて三人前の稼を強いられてゐる。一人前の野良其他の生産勞働、一人前の家庭勞働、更にもう一人前――男子は逆立ちになつても出來ぬ。――出産育兒の爲めの勞働を。

野良に於いては男女の分業は殆どない。男子のやる丈の事は婦人もやつてゐる養蠶に至つては婦人が主體で男子は助手に過ぎぬ。家族の――ことに農村は大家族が多い――炊事洗濯お針掃除等々凡ての家庭内の勞働は婦人が分擔する習慣であり若し受胎すればつはりの苦しみも身重の不自由も命がけの出産も亦婦人のみのなめなければならぬ苦惱である。其他哺乳育兒看護等背負ひ切れぬ重荷か、無產者としての苦しみの上に婦人にのみは加へられてゐるのである。

然も家族制度と社會的因襲とは如何なる階級の婦人よりも強固に牛馬の下位に彼女達を縛りつけてをり、その經濟的地位は最も劣惡である。

必要な人に質屋同樣質物を抵當にして金子を貸すのであります。
　質屋が金子を貸して利子をとるやうに、(一圓 つき一ヶ月金三錢)質庫信用組合も利子をとるのですが(一圓につき一ヶ月一錢以下)質屋のとり揚げる利子は全部その主人の財產となるに反して、この組合では全然組合の純益となり結局組合員全體のものとなります。またこの組合は一方に普通の銀行のやうに金子を預け入れることも出來ることになつてゐて、大いに歡迎してゐますが、普通銀行では其の利率が四分乃至四分五厘郵便貯金が四分八厘、そしてこゝの信用組合は六分といふ利廻りであります。あづけ入れた人に對して他の貯金の場合と比べてそれだけ多い利子を與へておき乍ら、其の上からうして組合のよい點は預け入れられた金子は再び組合員のために役立つ、即ち質物を抵當に金子をかりに來た人達へのユーズー資金になつて細々ながら利子を生み、その利子は組合のものとして積立てられてゆくのです。
　郵便局や銀行が、どんなに零細な金子でもわれ〳〵から預かつてはくれますが、ではわれ〳〵が困つた場合に少しでも貸してくれるかと云ふと殆んど駄目です。たゞそれらをまとめて大金にして大資本家や事業會社へどん〳〵貸つけて、時には、ほらいつかの樣にすつかり踏み倒されて銀行破產

從つて、彼女達は自ら身を削り、肉をそぐより外に生きる道は見出せない。
「そりや產後に早く起き出すのは、身體の毒だア知つとりますが、お蠶さんの時にどうして安閑とねとられますか」
　實際、一家數人の生命を託したお蠶さんであつてみれば、自分自身としても寢てゐる氣はすまいし又側の人だつて寢かしたくも寢かしてはおけないのである。
最近四十一戸の農村小部落に暫く腰をすへてゐた。其所では十二人の母が難產し六人は出產後の肥立が惡くて入院した(入院は死病でなくてはしない)内三人は現在も病人であり一人は死亡した。この數は特にひどいが、然し私の知る限りの農村はこれに似たり寄つたりである。「毒だ」と知りつゝ、四五日で起きて出るのが習慣であるが、此習慣は農村一般の窮迫(きうはく)と婦人奴隷觀から生まれたものであらう

二

　悲慘なのは單に婦人丈に止まらずその子供にも及ぶ。子供も亦可愛想なものである。同部落四十一戸で現在の戸主になる出產兒數二〇四人(これも多過ぎる)で死亡した子供は五十七人うち五十人は乳幼兒、實に二十五%を示してゐる。(昭和元年度全國乳兒死亡率十三%)此の數をみられる人々は、各その專門の立場によつていろ〳〵な問題をつかみ出される事と信じる。私は腹を痛めた子供を失ふ母の悲しみ、折角生を受け乍ら二葉にして枯れて逝く幼兒の上を思ふて限りない淚を注ぐと共に、生き殘つた母にとつては歡びであるべき子供が、母の身も心も

をひき起したりすることさへ多いのであります。つまり、銀行でも郵便局でも私たちの金子を安い利子で預け入れて、比較的高く事業會社などに貸しつける。その利潤は全然株主や重役のふところへ流れ込んでしまふ。それらの事業會社の仕事といふものが、又どれも營利的な事業であつて、結局少數の資本家を肥らせてわれ〳〵を搾取する資金にまわされるだけなのですから、われ〳〵の預金すら、信用組合のやうなわれ〳〵の金融機關をもたない限りは二重にも三重にも自分で自分を搾取する結果を來たすばかりになるのであることを知らねばなりません。

昭和四年十二月現在で組合員六九八人、

出資金	八八〇〇圓
貯金	一六九〇〇〇圓
借入金	四三〇五〇〇圓
貸付金	五七四〇〇〇圓

これに依る剩餘金總額が(四年度)五五一圓七十三錢、これを處分して、

法定準備金	二〇〇圓
配當金(年五分)	二三六圓九〇錢
從業員退職給與積立金	二〇圓
次年度繰越金	九四圓八三錢

まことに異常な好成績であります。

細らせる重荷であり、仕事の邪魔するする手足まといであり、生活をおびやかす仇敵でさへある。といふ事實に一層胸を痛めないではゐられない。可愛い子供を可愛がる心の餘裕さへない！　母としてこれほどの不幸が又とあらうか。

叱りとばし、なぐりつける事が子供の德道を傷け、しだいに道德律を下げると知りつゝも、さうでもしなくては生きられないのが彼女達の生活の實狀である。腫物（何んと多くの子供が腫物を出してゐる事よ、しらみも、伸びた爪も眼病も地方病も、胃腸病も風邪も未然に防ぎたいに違ひない。鼻汁もとつてやりたいだらうし、學校の成績にも注意を拂ひたいに違ひない。然し彼女達はそれ丈の時間的物質的精神的餘裕を持たないのである。養蠶中の母の睡眠不足(平均二三時間)は乳兒の上にいゝ影響はしないだらう。或母は桑摘みから歸つてみたら冷たくなつてゐた死兒を抱いて狂女のように泣いたと聞く。

貧は母に最も深刻である。何故なら彼女は最も家族を愛し、愛するが故に貧との戰に最も勇敢だから……。髮を梳ずる暇もなく、夜叉のやうにふり亂して立働く時の彼女には子供を顧みる暇はない子供はたしかに邪魔者でしかない。子供可愛さに身をすり減して働き乍ら、その子供を仇敵視しなくてはならぬといふ此悲しい矛盾もあまりに課せられてゐる重荷が重すぎるからだ！

三

母も子もこれではあまりに悲慘だ。

平田さんの農繁期托兒所の試みから多くの有益な材料を投げ與へられたことを嬉しく思ひます。

足手まとひの子供の世話をして、親たちの勞働に便多からしめることもたしかに重要な當面の急務であるにちがいありませんが、又常に、さういふ試みの底にはもつと根本的な社會的考察、積極的な社會改造への熱求を、忘れず持つてゐなければならぬと思ふのです。

それは、子供を、世話し切れない程澤山に産んでいゝかといふ問題。

又、子供の面倒もみられないほど、毎日あくせくと貧乏生活におはれてゐるだけで我々の一生が終つていゝかといふ問題。

何ごとにも泣ね入りは禁物・われ〳〵の手で出來ることは何なりと厭へつけるものをはね除けませう。苦しい者は、苦しくない道を開拓しませう。いつも、もつといゝ生きてゆく道がないものか、求め求めて進んでゆきませう。さういふ欲求が、婦人運動として結合し、社會運動として發展するのであると思ひます。

日本人は子供を生みすぎる、といふことは世界の通り相場です。實に次の表に示すやうにであります。

	千人に對して
日本	三三%
洪牙利	三二

母も子も救はれる道としていろ〳〵な方面から考へられるだらう、私は母性の立場から、農繁期に於ける託兒所の設置を提唱(ていしやう)したい。其他慈善的團體でやつてゐる所もある。ないよりはましだと思ふ。だが元來此事業は母の分擔すべき仕事の延長である。母が主體となつて自發的に主催してほしいと思ふ。處女會、女子青年團、婦人會といふ樣な團體はどの村にもある筈、何はおいても、此仕事を來年といはず今年から初めてほしい。此仕事こそ、さういふ團體のなすべき仕事のうち最も意味のある本質的な仕事であると信じる。女の事は女でやらなくてはだめだ。男子がやつたのでは、どうしてもぬかりがある。利用にきつと不便をきたす。

初めるといふ事は凡て大さうな氣がして、おつくうなものである。が、此仕事は決して大さうなものではない。大さうにせずもやれるものである。創めやうとなさるならそして私の經驗が役に立つなら、私はよろこんで御相談を受ける。

或村では農會主催で學校でやつてゐる。農繁期は五年以上位を休ませる處が多い。その間、受持ちの先生は手すきである。その手すきの先生が交替(かうたい)で保育(ほいく)に當るといふのも一方法である。これなら、大した設備もいらぬ。學校にあるものを流用すればいゝ。四年以下の休みのない小供が、學校に行く時幼兒をつれて行くといふ樣な便利もある。然し、私は特に學校流用について注意したい事は、學校兒童の通學可能の巨離と幼兒のそれとは違ふといふ事である。その上託兒所はどこまでも親の便利といふ事を考へに入れなくてはならぬ。遠くては充分利用出來



西班牙	〃	二一、九
ポルトガル	〃	三一、六
イタリイ	〃	三〇、一
オランダ	〃	二八〇六
オーストリア	〃	二八、一
ドイツ	〃	二七、一
デンマル〃	〃	二六、五

ぬ。金をかけて一つ立派なものを作るよりも、それだけの金でいくつも作る方が利用し易い。小學校は一村又は數村組合で完全に設備する事にも意味があるが、託兒所は一部落一託兒所でありたい。

どこの部落にだつて寺か社の一つ位はあるだらう。さういふ所を利用するのも一方法である。立木の枝にブランコをかけ、緣側に板を立てかけて辷臺にし、竹か丸木で枠登りをつくり、蓆の十枚も用意すれば、幼兒の四十人位は充分遊ばされる。木切竹切れは充分玩具となる。

今一つ注意したい事は、都會の眞似して、折角田園にのみ惠まれた自然を利用する事を忘れぬこと。雨の日の外部屋の中などに閉ぢ込めてはならない。川原が近ければ砂場もいらない。夏は木蔭を拾つて歩き冬は日向を選んで集まればいゝ冷たい朝は落葉を焚かう。

保姆は寺や神社などの住職神官などいふ人がやるのもいゝ。處女が代る代る助手に出る事にして。他所から專門家を伴れて來るといふなら、充分農村の生活を知つてゐる人でないと困る事が多い。

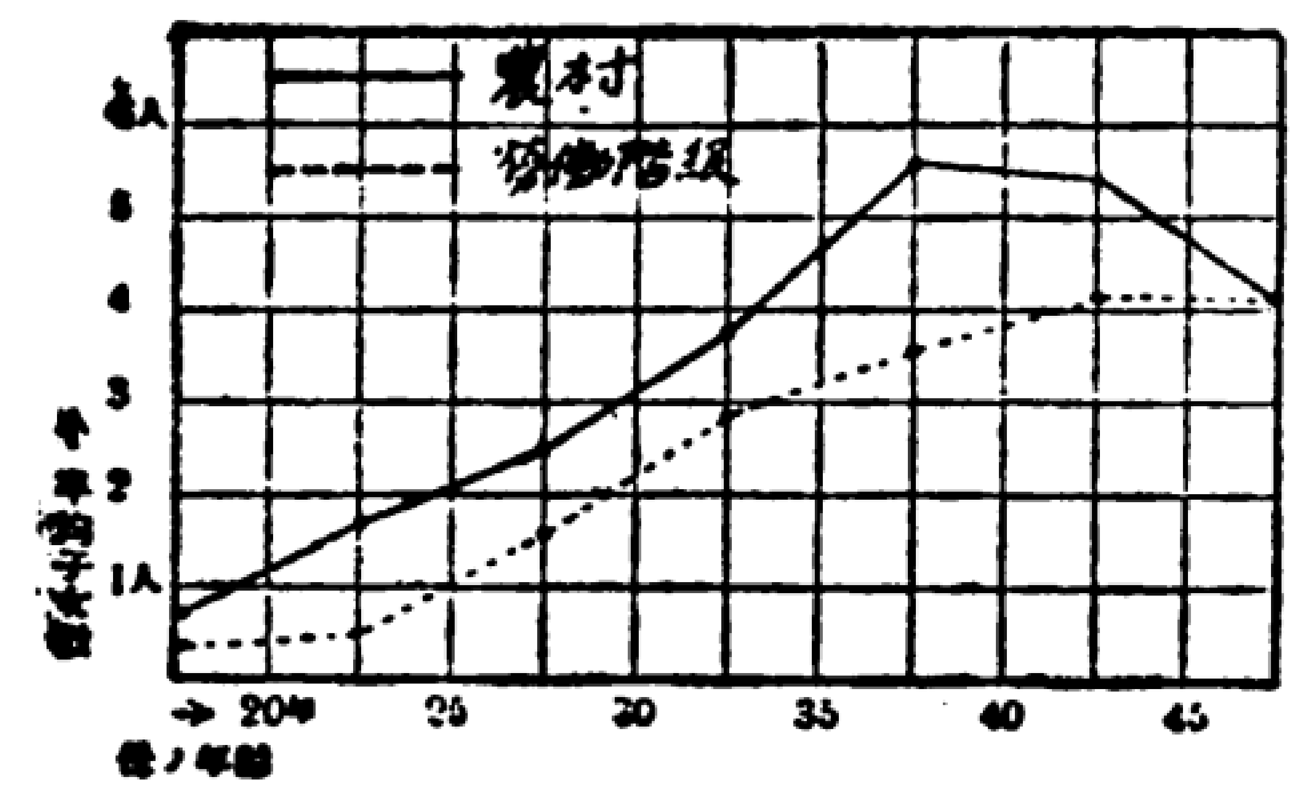
乳兒をも預からないでは、ほんとの託兒所とはいへない。乳兒を預るといふ事になると一層近い區域に限る事が必要になつて來る。乳兒預りの設備としては、ハンモツク、乳母車、布團等が必要だし、人工養營をやるなら、その設備が入る各家にあるものを持寄るやうにしたい。但し人手はずつと增さなくてはならぬ。

米作のみをする處では農繁期は一月足らずで了るが養蠶をする處ではかなりに

ノールウエー 〃	二五、七
イギリス 〃	二四、二
スヰス 〃	二三、四
ベルギー 〃	二二、五
フランス 〃	一八、四

同じ日本の内でも農村が多産であることは多くの調査の一致するところです。今年度より啓發、社會衞生、豫防醫學の問題で何かとお心添頒ふことになつてゐる金澤醫科大學敎授星野氏(前號に寄稿)の研究室から發表されてゐるパンフレット、村上助敎授の調査にかゝる「農村家族の社會衞生學的考察」をみても、三重縣度會郡の一村に於けるだけの調べでも次の樣にそれが明かであるのです。

農村と勞働階級の比較出產數
(母の年齡と平均子女數)



長い。少なくも半年は續く。專門の姆嫗を賴むなら、殘る半年は、成人ことに處女の爲めに敎育してくれる樣な人がいゝ。(姆嫗の方からいつては半年失業するのでは來てくれないだらう) そして、其所はその部落の凡ての文化の中心となるならば更によい。

四

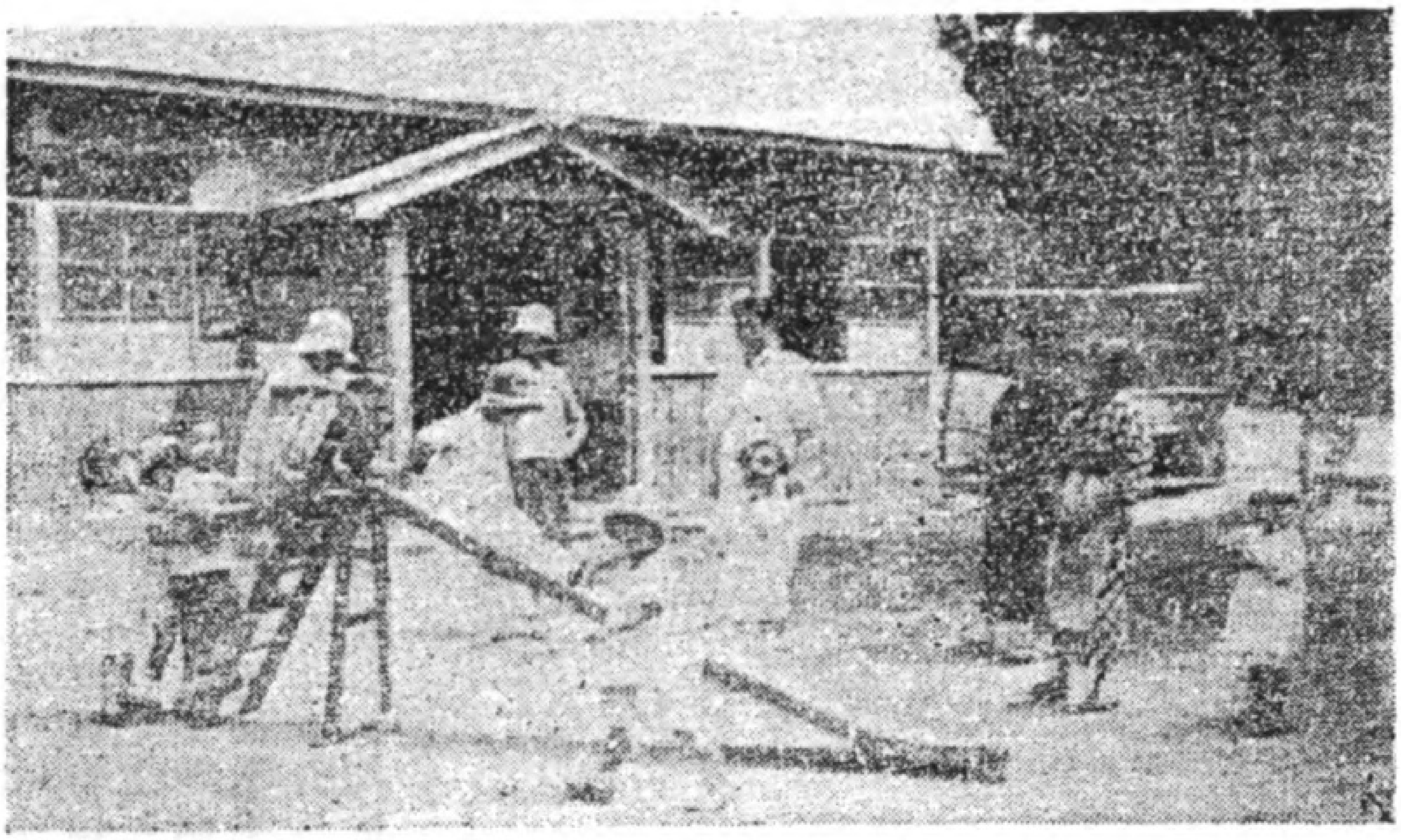
最後に山梨縣中巨摩郡大鎌田村字窪中島に於ける昨秋農繁期託兒所を紹介して筆を擱く。これは先々月號に奧氏へ送つた音信がのつてゐるので重複する所があるかも知れないが……。

×

此所の託兒所が充分利用された事は位置の關係もある。はしからはしまで三丁ほどの間にゴシヤ〱とかたまつた小部落の西端の荒神樣を當てた。先生が迎ひに行つたつてたいした手間はとらぬし、母樣も、田圃への出がけにつれて寄つたつて大した寄道でもない。慣れぬ間は家と託兒所との間を子供達は行つたり來たりも出來るし、ちよつとのぞけば家の屋根もみえ田圃に居るお母さんの姿だつてながめてゐられるのだから、子供だつて馴れ易かつたに違ひない。

×

設備としては、お荒神樣へ十二疊の花ござを敷いたこと。例の竹籤の竹を切り出して梓登りや便所を、持寄つた板でシーソーブランコ等を、席で風除を作つた



そしてこの多産は多死を伴ひ、農村では澤山の子供を死なせてゐるのであります。澤山に子供を生んで心も手も營養もが行屆かずにどん／＼死んでゆくのです考へなければならぬ問題であります。

事位その外に庭にしく席數枚、砂場は青年の飛場だつたものを利用した。其他部屋を暖めるために養蠶用の煖爐を嬰兒をねかせるためにはハンモックを持ちよつた。炭は一俵使つた切。その外には、色、紙、塵紙、萬國國旗、繪本等を求めたし、應急手當用のメンソラ、オキシフル繃帶等も備へておいた。

×

創める時にも、母性の自發的意志の有無に私はひどく干心をもつた。

自分達の分擔すべき仕事。

自分達が主體でやる仕事。

といふはつきりした意識がなくては、私は取かゝらぬ積りだつた。そこは念を押した。私がやらねばならぬと信じたからとて、無理に強ひやうとは思はない。女が受身で働くのは大嫌だし、受身でやつてゐるのでは、何時迄たつても、女自身の仕事は出來ない。何時までたつても女は獨立人にはなれない。

「やる氣だ。やりたい。」

といふなら、私も母性である。私の出來る協力はしたいと手を差出さう。

と私は何時もかういふ考へで同性を相手の仕事に當つてゐる。だが、仕事をする上に、村なり縣なりの物質的補助は受けられる丈受ける事に反對しない。否女性自身で補助金をとつて來る丈の力を示してほしい。當然の權利なんだから。その代り慈善團體のお情け的なものは拒否する。ずるく利用する氣なら、それに文句はないが、甞いえさにまんまと引つかつて、隨喜の涙を流すほど無自覺ではあつてほしくない。

タイプを打つ手を止めて

塙 志津子

今年は職業婦人の年でありたい。

澤山の職業婦人がラッシュアワーの電車からはみ出る程一杯に溢れ乍らゆられて運ばれてわれらのオフィスに通つてゐますけれど、全く、右を向いても左を向いても知らぬ顔の半兵衛サンをきめこんで少しも聯絡親交がありません。これは、奥氏がくり返し〳〵いはれてゐる樣に私たち職業婦人にとつて實に致命的損失です。

去年の春頃の職業婦人會第一回總會のとき、内務省の北岡先生が云つてゐられた言葉を私は忘れられません。法令を定めてはどし〳〵職業婦人保護や道を拓いてゆかなければならないのであるけれど、それには外部に有力な職業婦人の團體を作つて貰つて、みなさんの要求を輿論として世に高く叫んで貰はなくてはいけない、と。

尠く共あの雨の夕の出席者八十幾名の耳の底には、あの日の北岡先生のあの熱情こめたお調しが殘つてゐる筈だ。一年經つてまだ、われらの團結は力弱いものであることが私は口惜しい。

私と同じやうな境遇にゐて、私の朝夕と同じやうに獨りぼつちで頼りない職業婦人だつて尠くはないであらうに。

私はいゝお友だちがほしい。

力強い仲間がほしい。

しつかりした健全な團體に溶けこんでみんなと一緒に生きる喜びに幸いたい。

職業婦人協會をそんな團體にしたい。そして、全國の各都市で働いてゐられる職業婦人をみんな誘ひ合せて、有力な團體を作つて全國的な輿論を高めてゐたい。職業婦人協會の網を全國にめぐらして私たちの生活の安全辨としたい。

農民生活と振興策

楠瀬 春美

この頃、農村問題が新聞紙上に度々かゝげられてあるのを見うけます。やつと此頃農民のことを問題にして貰ふことが出來だしました。

田舍と聞けば、いかにも平和な、落ついた生活をしてゐる樣に、未だ多くの都會の人に思はれてゐるかもしれませんが、それは田舍の景色ばかりです。

田園は樂園なり。無言の哲人、大自然よと讃へられてゐる風景も、現在の一般農民の頭には、そう感じて喜んでゐる心の温かさがありません。否そんな心の起るすきまもないのです。

年々の汗と血の結晶である收穫物は、取入れられるとまもなく、税金に、生活費に借金の返濟にも變つてしまひ、不時の災厄に備へる餘剰金は全く浮いて來ません。それどころか、働いても働いても足らないで年々借金が増してゆくばかりのうちが澤山あります。酷暑の中に田をはひ、嚴寒に畠の耕作をしても、小作農人は、生活のドン底へドン底へとおとされております、彼自身、やつてゆけるのが不思議であるといふのですもの、生存苦に追はれて、どうして自然の美が、農民の心にうつりませう。如何によく盛られた營養食でも、腸加答留では、素通りするばかりであります。

我國の農村世界には、日曜がありません。無論祭日だつて休みはしません。毎日、肉眼で地上の見える間は、外で働くのです。

働くといふことは、幸福で愉快であります、けれ共、農民達は、面白くて働いてゐるのではないのです。休養といふことのない彼等は、永年の疲勞と、偏食の爲、痩せきつた身體と、枯れきつた心を、どうにかひきずり〳〵生に追はれて、仕方なしに野良に出て働いて居るといふばかりでありま

す。

　彼等の體格の次第次第に退下してゐるといふことは、爭はれない事實であります。

　文明が機械を生み、白米食に變じて、某氏の言の樣に、農民營養が減ぜられてゐるとすれば、必ずしも文明讃美が出來ないことになります。一寸考へてみても、何故その外側をけづり落すだらうかと不思議であります。而もよりよき營分を落すなんて、徒勞にも程がありこれ程馬鹿なことはありますまい。辛苦の上、やつと出來上つた玄米を、搗賃を出して少なくして、白米食をつゞけるといふことは、國力の浪費も甚しいことになります。眞實、玄米、胚芽米が我等日本人に理想的ならば、政府は、國法としてでもこれを奬勵したならはいかゞでせう。近き將來に、科學の力で、無際限の理想食が發明されるならば、問題外でありますが。

　病氣になつても、醫者の診察を受けず、年に一度位廻つて來る、富山や仙の藥賣りのおいて行つた、古いかびのある藥をのんで無理に働きつゞける農民、彼等は、生活といふより、生存といふのが、はまつてゐます。斯くの如く彼等の身體精神が、枯死の有樣では、健實な國體力は生れません。

　或若い農夫は「いくら働いても、休ましてはくれず、小使もくれない。使はれるばつかりだ。何の樂しみも出來ず、どんな御馳走もない。叱られて、牛馬の樣に使はれて、馬鹿々々しい。一生懸命働くのは損ぢや、ぐず／＼やつてる」といふのです。

　かふなるのは當然でせう。希望社の後藤靜香さんは、人間に四ツの欲求がある、靈的、智的、娛樂的、生的と申されました。白痴でない限り、多少の差はあれ、誰でもこの欲求はあると思ひます、農民にも、矢張り一人前の欲求があります。

　第二の農夫として、成長しつゝある子供には、せめて充分な營分を與へて、健康な農夫に作り上げたいものです、いろんな方面から云つてそうした公共の設備は出來ないものでせうか。

　又農民敎育として、農の高貴な業務であることを、しつかり植え込み、子供に興味をそゝぐ樣敎えることが、大切だと思ひます。正直な彼を相手に、動物、植物の成長を樂しむのであります。眞心さえこめて、世話をすれば、何もかも、スク／＼と嬉しげに、大きくなります、何に限らず、成長をみつめる事程、愉快なことはありませんもの。

　小學敎育位、細心の注意を要する敎育はございますまい、何もない、白紙の心へ敎えるのですから、中等高等大學よりも、一等重大でありまず。この時代に、うまく敎育せられた子供は、一生の幸福であります農民敎育もこゝから初めなくてはなりません。よき農夫の卵を養成することは、次の時代の健實な農村世界を作り兼ねて、健康な國家を生む基礎となります。

この地方の若人の活動

唐澤俊夫

　信越線沿線とは云ひ條、最近に驛が出來たばかりの避地である私の村は、小縣郡の北海道とさへ云はれて來た程文化におくれた村でした。然しこの頃の飛躍振りを見て下さい。

　去年御來講下さつた頃に話がいよ／＼具體化しました補習學校的のものが、十二月初から初められてゐます。男子夜學は三十五人位、女性は五十人位、これは晝間勉强です。自治的とまではゆかぬとしても大體青年會處女會の主催ですから割合によく行つてゐます。むろん不滿な點も尠くありませんが飛躍は論理の世界にのみ許されたもので、現實は一歩々々と進んでゆくより外ないでせう。

　處女會の方は御講話を伺つてから急に消費方面に力を入れ、態度が中々勇敢です。

事の歳市を目つけて信用組合から餅とり粉茶障子紙など仕入れて賣捌きましたし、冬至のこんにやくの注文を集めて、共同購入の利益金を會の基金にしたとのことです。(粉石鹸の販賣は從前通りしてゐます)中屋敷部落では、それらの益金の中十圓ばかり圖書を本年も購入しました。近く催す講演會などは經費の半分を引うけて經濟的にも青年會を助けてやらうなどと云つてゐるのださうです。

青年會の文庫は、毎年四〇圓宛買ひますからもう可なり揃つてゐます。それを處女會の本と同じ戸棚において兩方どちらでもみられる様にしてゐますからこの點、處女會が青年會へ感謝していゝわけです。こんなに處女會と青年會とが問題も起さず提携してゐる處は少ないでせう。讀み物は、處女會の人は未だ(青年會員もですが)小説や大衆物ばかり手にしてゆくのをみる時、はかなくなります。でも今年の購入圖書に『家庭經濟の建て直し』といふのも有りました目ざめると女性の力も男にまけず強くなります。

とにかく青年會も處女會も動からうとしてゐることは確かです。もう一度位、あゝいふ刺戟に富んだお話をして下さる機會があれば、きつと力強く動くと信じます。こないだのお話が何か強いものを彼女らに與へて行つて下さつたことは爭はれません。お通りのとき必ず、途中下車をしてもう一度來て下さい。

農閑期を利用して二月と三月に研究會をすることになつてゐて目下準備中です、二月八、九日は自由大學的な讀書會をして講習會もやり、青年會員處女會員が生徒になるのです、

甲州だより

(――略) 先日は子供達に鑑賞文選を御送り下さいまして有難う存じます、子供は勿論親達も皆喜んで居ります、でも「一人に一冊宛では先生も大變ぢや」と氣毒がつて居りました。(――略)

お荒神様の傍を通る時は、私に呼びかけて下さる先生の御聲がしさうで胸がおどらせます。でも先生の御姿も見えず、只綱の切れたブランコが淋しく揺てゐる丈です。

野良仕事も御かげでよく片附きましたのであれから甲府の親類に泊つてお針のけいこに通つて居ります。(中略)

奥先生や先生のお話しに村民一同共鳴し近い將來消費組合を作りたいといふ話が起つて居りますが、今年は其手初め、課餘練習として共同仕入を企てました。私共農村の女は村、外の世間は何も知らず、鋏を持つ外なんの術もないものですから、組合(小作組合の意)の男の方達の助力を仰ぐことになり、年末年始に使ふ乾物、下駄、たび雜貨其他問屋に交渉して、値段は賣價の平均二割引といふことに話しをきめ、問屋自身が出張して賣る事になりました。これは先生方としては、消費組合の精神に程遠いものと物足らなくも不甲斐なくも御感じのことゝ存じますが、御存じの様に私共農村民は高遠な理想などは容易にのみ込めませんし、老人も若いものもゐる事ですから、さう一足飛びには行きません。「消費組合といふものは物が安く買へるさうな」位の理解を持つてゐる人も多いのですから。

平田先生はしきりに繭の乾燥場を作ることを御勸め下さいましたが、青年達は大變共鳴してゐますから、幾年かの先には實現出來ることゝ存じます。さうなつたら、賣急ぎする必要もなく、みす〳〵仲買人に甘い汁を吸はれることもなくなつてどんなにいゝでせう。米にしましても、私共自身の手で作つたものが、都會の先生會の食膳に直接上る様になつたらどんなに嬉しいことでせう。

たつじ

平田先生

ゴム毬

松沼スヰ



姉や兄が、ヤレ辨當だの鉛筆だのと一しきり騒いで學校へ出て行つた。父が膝の薄くなりかけた洋服に着かへて矢張り學校へ出勤した。母は臺所で、田舍の主婦連が大昔からさうしてやつて來たであらう處の、鍋の底磨きをしてゐた。雪枝は縁側で姉のお下りの毬をついてゐた。毬の皮膚は脚氣病みの脚の様に青光りして、壓すとペコリと凹んだ。つくとピタ〱と音かした。

一二三、一二三………

三つ迄數へると、後はもう彈む力がない程毬は疲れてゐた毬ばかりではなかつた。家の中の總てのものは、疊も襖も釘にかけてある着物も皆ぐつたりと疲れて居た。

只、雪枝の顔と五月の空のみ朗かに輝いてゐた。

一二三……一二三……まるで毬と根競べする様に一二三をくり返してる雪枝を見て、臺所の後片付けが終つて出て來た母は笑ひ出して了つた。

「さあ、そんな事止めてこつちやがへ。」

と言つて母は押入れの戸を明けた。

「あら、何處さかいくのすか？」と、雪枝は毬をつくのを止めて小走りに押入れの前に行つた。

母は頷き乍ら行李のふたを取つて雪枝の黄縞の袷を取り出

した。
「診察すか？」雪枝は昨夜母が「明日は診察にいく。」と話してゐたのを思ひ出して聞いた。

雪枝の母は産婆の免許狀を持つてゐたが、子どもが大勢なのでそれが出來なかつた。併し、時々無理に頼まれて町へ行つた。それで小さい雪枝は、診察とはどんな事か知らなくても其の言葉だけ聞き覺えてゐた。

「うん！今日は大鹿さんと佐吉屋へいくのしや。なんでも大人しくすんだからね。」

母は言ひ聞せ乍ら肌着と黄縞の袷とを重ねて、はぎのある平常着と着かへさせて呉れた。黄縞の袷は去年の秋母の織つて呉れたもので羽織とお對だつたが、雪枝は餘りそれを好かなかつた。久しぶりで町へ行くのだから、此の頃こしらへて貰つた空色の地のメリンスが着たかつたが、それを言ひ出す程きまゝではなかつた。二人の支度の整つたのは十時頃だつた。

「狩野屋で空氣入れて貰ふべし毬持つてがへ。」

母が出しなに言つたので、雪枝は凹んだ毬を袖に入れた。隣の家に留守を頼んで母子は家を出た。

二人の頭の上には淺黄色の五月の空が限りなく擴がつて、其の下を紗の樣な雲がゆるやかに滑つて行つた。

川原の土手下の青い草の上にはたくさんの牛がねそべつてとろんとした目で二人を見てゐた。

雪枝は母の後からピン〳〵はねたり、カチン〳〵と石をけつたりして歩いた。それは彼の女が町へゆく喜びの表現なのであつた。

大鹿さんで母が診察する間、雪枝はお菓子を頂いたり其の家の健ちやんと言ふ子に繪本を見せて貰つたりした。

大鹿さんをおいとまして佐吉屋へ行つたのは十二時近くだつた。雪枝は母が診察する間賑かな通りで遊んだ。

荷馬車かドタ〳〵と幾臺も通つた。停車場通ひの客馬車が「パーブパブパブー。」と古風な音響を細長い町に捨てゝ行つた。其の頃は荷馬車、客馬車、人力車、それ等の交通機關が一かど文明人氣どつて雪枝達の町を横行？してゐた。間も無く其處のお婆さんに呼ばれて行つて見ると、母はもう診察を終つて茶の間のならべられたお膳の前に座つてゐた。そして雪枝は母の脇のお膳に坐らせられた。

「さあおごさん、何も御ありえんがたんと上つて頂きす」

お婆さんはそう言つて赤いお盆を差し出した。

先に母が御飯をつけて貰つた。其の次に雪枝がつけて貰つた。御飯は眞白い白米飯だつた。それを見た時雪枝は「お粥だな。」と思つた。そして嬉しかつた一ぜん目が食べ終る頃雪枝はとう〳〵それを口に出して了つた。

「おつかちやん！　こいつお粥だおね。」

「ナニす？」母が箸を持つたまゝ此方を向いた。

「このごはん、お粥だおね。」雪枝は平氣で言つてのけた。母が慌てゝ何か言ふとした時、佐吉屋のお婆さんは雪枝の言葉を引き取つて濟まなさうに言つた。

「ほんとにまづ、あんまりあんばいが惡くてお粥の樣だねす」

だが雪枝は、飯の加減が惡くてお粥だと言つたのではなかつた。彼の女は白米飯をお粥と覺えたのであつた。

日本米、南京米、麥、此の三つの穀物を混合して炊いた飯が彼の女の家のお茶碗に盛られる御飯だつた。白米飯は家で誰かが病氣の時お粥として炊かれるだけだつたので、雪枝は白米飯の事をお粥と覺えたのだ。

「そんな事御ざりえん、いゝおあんばいで御ざります。」

母は氣の毒さうにお婆さんに言ひわけした。そして

「默つてたべさえん。」と恐い顔をして雪枝に言つた。

雪枝は、何故母が怖い顔をするのか不思議だつた。

御飯が終つてお婆さんが二人のお膳を臺所に下げて行つた時、雪枝はもう一度、

「あのごはん、お粥だおね。」と言つた。

今度は母が、「うん！」と小さい聲で答へたので、雪枝は滿足してにつこりした。

それからお茶を頂いて佐吉屋をおいとました。

そして狩野屋に寄つて凹んだ毬に空氣を入れて貰つた。古毬は色だけは相變らず青光りしてゐたが、つくとぽんと氣持ちよく彈んだ。店の硝子戸棚には新しい毬が頭を並べて坐つてゐた。

「毬がうんとあんのね。」雪枝は新しい毬を欲しいと言ひかねて、只さうだけ言つだ。所が以外にも母は、

「一つ買つてやつからね。」と言つて、番頭に新しい毬を出させた。新しい毬はつかむと、睃い樣な柔かい彈力を感じさせた。買つた毬は、番頭が氣を利かして赤い美しい何かの空箱に入れて呉れた。雪枝はすつかり得意になつて狩野屋の店を出た。

町を出て土手にさしかゝつた時、母が思ひ出した様に言つた。

「外の家で御ぜん頂く時、あんな事言ふんでがゑんぞ。お粥だの何だのつて……。」

雪枝は變な顏をして、けれど素直に「うん！」と言つた。

其の晩の夕食時、佐吉屋での一件が母から話し出されて家内中吹き出した。

「雪枝にかゝつて冷汗を流した……。」母が言つた。

「ナニ語んだか、雪枝ときてから……。」姉が言つた。

「馬鹿だなあ！こいつ。」兄が言つた。

父は何とも言はず涙をこぼす様にして笑つた。雪枝は餘り皆が笑ふのできまり惡くなつて箸を置くと、下を向いて買つて貰つた毯をいじつてゐた。毯の上には「ユキエ」と父の書いて呉れた字が黑々と浮いてゐた。

笑ひが止むと皆又箸を取り上げた。雪枝も食べ初めた。

「おら家で、いつから白いごはん食べさせんのしや？」

雪枝が突然顏を上げて母に言つた。姉兄達も一せいに母の顏を見た。

「兄ちやんや姉ちやんや雪枝がみんな大きくなつて、學校を出て働く様になれば食べられんのしや。」

母は何故か顏を歪める様にして言つた。

「うーーん。」雪枝は解つた様な解らない様な顏をして、又ミコヤ飯（家では混合食をさう名付けてゐた）を食べ初めた。

× × ×

其の秋半ばに雪枝は姉になつた。ミコヤ飯はそれから四五年續けられて麥飯にかはつた。

× × ×

雪枝の妹が生れてから、十幾年の日月が流れた。十數年の日月は、色々の事件を、變化を生んで消えて行つた。

二人の姉達は女學校を終へると三四年職業生活をして嫁いで行つた。雪枝が女學校を出た年、父は疲れた毯の様になつて死んで行つた。母の髪の毛は半分白くなつた。

兄はまだ大學一年で、妹は女學校だつた。

周圍の情勢は彼の女を安閑としては置かなかつた。雪枝は學校を出ると直ぐ職業婦人として都會の渦の中に飛び込んで行つた。そして、何故自分等は十年近い月日をミコヤ飯を食べなければならなかつたかを判然と解つた。だが雪枝は、働いても働いても子どもの教育はおろか、ミコヤ飯すら食べら

れない階級のある事を知つた。
働きたくても働けないといふ悲慘を知つた。さうした世の中の不合理は雪枝の心を赤く燃え上らせた。
雪枝の父母は、彼の女等の小さい時口ぐせの樣に言つた。
「まづい物を食べても、ぼろを着ても、勉强して上の學校を出さへすれば皆見返してやるにいゝのだ。」
不當な侮辱に對して父母はさう言つた。五人のけうだいは皆それを遵奉して、成績はいつも優等だつた。
塵程の恒產も持たない、五人の子を抱へた下級俸給生活者の父母は、自分の子を教育し、そしていゝ地位に坐らせて？自分等を不當に侮辱した支配階級の人間を見返したかつたのだ。だが子供等が學校を卒業して實社會に出る頃は、矢張り子ども等も下級俸給生活者であつた。
父母達のもくろんだ戰ひは負けた。
雪枝の心にも、ブルジョア階級に對する憎惡の火が、父母達の胸に燃えた火よりも更に强く燃えてゐた。けれど雪枝は父母達の樣なコースを取つた鬪ひでは、何時迄經つても敵に勝てない事を知つた。
無產階級の固い團結と根强い鬪爭のみに、最後の勝利が約束されてゐると言ふ事を、幾多の事件が彼の女に示して吳れた。
彼の女は、壓しても〻强くはね返す新しいゴム毬の樣な潑剌たる彈力を持つて階級戰の一端に參加した。
けはしい生活戰の眞唯中にあつて始終張り切つてゐる彼の女の心も、ふと、步道の傍の玩具屋でゴム毬を見る時、幼い日の佐吉屋での一件が思ひ出されて、ユーモラスな笑ひが片頰に浮ぶのであつた。

編輯室でむめお記す

今月また、雜誌がおくれさうで私はつらい。いゝ雜誌になつた、とみんながほめて下さり、讀者を紹介して下さるので私は涙ぐんで喜んでゐる。どうも私は忙しすぎる樣だ。仕事をもつと整理し、人との交渉も成べく時間と用件を整理しなくつちやあ、と正月早々かたい決心をしてゐた筈だつたが――

去年は消費組合協會の方が大いに働いた。今年は職業婦人諸氏が大變な熱心さで私をベンタツし、やつつけてかゝつて來るのでいや應いはれずとにかく働かざるをえない事情におかれてゐる。私は、職業婦人協會の書記長としてきつと今年は働いてみせる。まあみんな御安心！

婦人消費組合協會の方は、大體根が出來たし、實際の組合の諸君が婦人の間へも消費組合思想を注入してゆく必要を痛感してゐられるから、各方面によいレンラクがとれて伸びつゝあるもつと廣い意味で家庭婦人問題をいろ〳〵とりあげてゆかうと云合つてゐる。

××新聲社の○○さんが見え

讀者をふやして下さい

廣告力をもたないうちの雜誌のやうなのは、内容がどんなに・よくても今の資本主義社會では店頭の競爭品にならない。

だから、讀者から讀者へ！

直接勸誘に依つて雜誌の協力者をふやすのだ。

新しい仲間よ、殖えよ。

て、いろ〳〵私の貧乏笑話を聞いて、そんなに貧乏をしてゐらつしやるの？と今更らの樣に感嘆詞をあびせかけられた。

「そして、いつまで貧乏するのでせう」

と問かれた。

「いつまででも――社會の人が貧乏しなくなる日まで」

かう云つて二人で又賑かに笑つた。

さうだ、私一個人や、私の家族だけの生活を維持してゆくことだつたら、微力なりと云へ共私にだつてさう貧乏しないだつてやつてゆけるにちがいないと思ふ。個人的な安逸をむさぼつてゐられぬ處に私の仕事がある社會運動がある。

東京へ來て私の仕事を手傳つてやりたいと仰言つて下さる人がこの頃隨分多い。みんなに來て貰つてみつちり手傳つて貰つたらどんなに職業婦人社の仕事は發展することだらう。

然し私は思ふ。脊水の陣をひいてしまうて、苦しくとも、いま〳〵しくとも、辛くとも、とにかくやつてのけるといふだけの覺悟は中々出來てゐさうで出來ないものだ。世間的に派手にワツショイ〳〵かつがれてゆく仕事とは、根本質に大違ひでござります。

別便で、「職業婦人の家」の募金をお願ひ申しあげた方が大分あります。私は今年の夏頃までにやりとげたいと思つて懸命に働いてゐる處です。私の仕事の基礎をつける仕事です、どうぞぜひ助力して下さい。

生田花世女史より

新年號「女流文壇の展望」として書いた文中に、アナアキスト窪川いね子氏とあります。大變な誤り、女史は「戰旗」の同人です。こゝに女史及び讀者へふかくお詫び申します。

昭和五年一月二十五日納本
昭和五年二月　一　日發行

◇誌代はすべて前納にして下さい

誌代

壹部	貳拾錢（郵税一錢）
半年分	壹圓二十錢
壹年分	貳圓二十錢

久米正雄全集

全十二卷・一册一圓

藝術的にして大衆的！明るく！朗らかな全集！

久米正雄氏の作品が、長篇、短篇、戯曲、何れも清新にして優婉、百パーセントの藝術的價値を有しながら、又よく人情の極致を描いて數百萬の讀者を感泣せしむる力強き大衆的作品たること夙に世に定評の存するところ、小社は茲に菊池寛全集の姉妹篇として、此の不朽の名作、永遠の珠玉を全十二卷に列ねて滿天下の久米ファンに贈る。敢て大方の支持に俟つ。

内容見本贈呈

全十二卷の内容

◇四六判毎卷約六百頁、九ポイント一段組總ルビ付
◇本文コツトン紙、表紙七色刷總模樣背金文字函入
◇會費（毎月拂 壹 圓（申込金壹圓）
　　　（一時拂 拾壹圓（申込金不要）
◇送料各卷拾六錢・東京市内六錢
◇申込金は最終會費に充當

締切 二月二十八日

肉筆短册贈呈

本全集出版記念のため久米氏の肉筆短册壹千枚を抽籤により豫約會員諸氏に頒つ。

東京麹町 **平凡社** 振替東京二九六三九

大正十三年十一月二十二日第三種郵便物認可
昭和五年一月三十日印刷納本
昭和五年二月一日發行（毎月一回・一日發行）

婦人運動 第八卷 第二號 定價廿錢